

[3127] 教養科目 自然分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
自然科学概論			講義	友田志郎	2年	後期	健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無				
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	70	有	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》
	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—
	期末試験											70	有	
期末レポート														
授業内小テスト														
授業内提出物														
授業内活動											30	無		
その他														
計											100			
フィードバックの方法														
○ — ○ — — — — — — — — — — ○ —														
当該科目の キーワード	《知識・理解》		人類史 科学技術史 地球史									期末試験については、正答例を示す		
	《汎用的技能》													
	《態度・志向性》											アクティブラーニングの有無 (内容)	無	
授業概要	人類の歴史と科学・技術・知識・知恵の発展との関わりを中心に、自然科学の様々な分野の歩みを幅広く講義する。													
授業の到達目標	人類(ヒト属)の出現と地球への影響、人類の科学と技術の発展史、近代社会と科学の関係などについて学び、人類社会の今後の科学技術の進展を歴史の流れの中で捉えるための知見を得る。													
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	ヒト属の歴史。農耕の始まりと家畜化 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	2	ヒトの歴史と科学革命 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	3	最初の科学としての天文学と暦 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	4	宇宙観の歴史 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	5	物質の根源。原子論。近代化学の誕生と発展 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	6	運動と力学 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	7	電気と磁気。原子論の急速な発展 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	8	生物の分類。微生物の発見。生命と自然発生論 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	9	創造論と進化論。生氣説と有機合成 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	10	医学と疫病 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	11	動力とエネルギー 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	12	情報。コンピュータの発展 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	13	太陽系と地球・月の成り立ち。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	14	地球の生命史 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	15	科学的思考 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
教科書・教材	特になし													
参考書・参考文献等	特になし													
履修上の注意等	試験はノート・資料の持ち込みを前提として行うので、暗記は必要ないが、講義内容をしっかりと理解し、復習時にノートした内容を整理すること。													
実務経験との関連	実務経験の有無	無												

[3135] 教養科目 基礎技術分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
プレゼンテーション論			講義	友田志郎	2年	前期	健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無									
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者									
			2							期末試験									
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—		—	—	—	—	○	授業内提出物	30	有
	—	—	—	○	—	○	—	—	—	—		—	—	—	—	○	授業内活動	70	有
														計		100			
																フィードバックの方法			
当該科目のキーワード			《知識・理解》		《汎用的技能》		《態度・志向性》		①提出された課題作品を互いに見比べ、向上を図る②プレゼンテーションの内容についての講評			アクティブラーニングの有無(内容)		有					
授業概要			コンピュータを用いたプレゼンテーション資料作成のために必要な画像編集・作図について指導する。更に、効果的なプレゼンテーションのための資料構成について、演習を通じて実践的に指導する。									授業内でコンピュータの操作、口頭発表等を行う							
授業の到達目標			①図の制作方法や写真の加工技術を学び、効果的に活用できる能力を養う。 ②音声データの編集処理を行える。 ③基本的な動画編集処理、及び資料説明用の動画作成を行える ④効果的な口頭プレゼンテーションのための資料作成能力を身につける。																
単位認定の要件			すべての課題・レポートが提出されている事。上記①～④の得点合計が60%以上																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容															
			1	授業の進め方の説明。PowerPointによる資料作成(1): アニメーション機能 予習:(分) 復習:(180分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること															
			2	PowerPointによる資料作成(2): 表とグラフの作成 予習:(分) 復習:(180分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること															
			3	PowerPointによる資料作成(3): ハイパーリンク。口頭発表の為の資料作成の基本的留意点。資料の構成と組み立て 予習:(分) 復習:(180分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること															
			4	口頭発表演習(1): 練習用の口頭発表 グループ1 予習:(120分): 口頭発表の準備をしっかりと行う 復習:(60分): 口頭発表で指摘されたポイントを吟味し、改善点を検討する															
			5	口頭発表演習(2): 練習用の口頭発表 グループ2 予習:(120分): 口頭発表の準備をしっかりと行う 復習:(60分): 口頭発表で指摘されたポイントを吟味し、改善点を検討する															
			6	画像データの編集(1): 画像編集ソフト。基本的な編集 予習:(分) 復習:(180分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること															
			7	画像データの編集(2): 画像の合成 予習:(分) 復習:(180分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること															
			8	画像データの編集(3): GIFアニメーション。画像ファイルのフォーマット 予習:(分) 復習:(180分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること															
			9	口頭発表演習(3): 練習用の口頭発表 グループ1 予習:(120分): 口頭発表の準備をしっかりと行う 復習:(60分): 口頭発表で指摘されたポイントを吟味し、改善点を検討する															
			10	口頭発表演習(4): 練習用の口頭発表 グループ2 予習:(120分): 口頭発表の準備をしっかりと行う 復習:(60分): 口頭発表で指摘されたポイントを吟味し、改善点を検討する															
			11	音声データの処理: 音声編集ソフト。音声の録音と編集 予習:(分) 復習:(180分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること															
			12	動画データの処理(1): 動画編集ソフト。基本的な動画編集 予習:(分) 復習:(180分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること															
			13	動画データの処理(2): PowerPointを使用した説明用動画の作成方法 予習:(分) 復習:(180分): 授業中に学んだ概念やコンピュータの操作について復習し、身につけること															
			14	口頭発表課題(1): 成績評価用口頭発表 グループ1 予習:(120分): 口頭発表の準備をしっかりと行う 復習:(60分): 口頭発表で指摘されたポイントを吟味し、改善点を検討する															
15	口頭発表課題(2): 成績評価用口頭発表 グループ2 予習:(120分): 口頭発表の準備をしっかりと行う 復習:(60分): 口頭発表で指摘されたポイントを吟味し、改善点を検討する																		
教科書・教材			特になし																
参考書・参考文献等			特になし																
履修上の注意等			毎回の授業でノートパソコンを持参すること。また、画像・音声・動画などの編集操作の為にはマウスが必須である。操作技術修得には毎時間の積み重ねが必要なので、その都度復習することが必要となる。																
実務経験との関連			実務経験の有無	無															

[3145] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
時事英語 I			演習	杉本久美子	2年	前期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無							
1	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験	70	有				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ		倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	○	—	○	—	○	—	—	—	○		—	—	○	授業内提出物		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		時事問題に関してメディア英語を通して理解を深める。									期末試験は採点后返却し、解答の説明を行う。授業内活動と提出物についてはその都度内容確認と所見を伝える。	アクティブラーニングの有無 (内容)	有			
	《汎用的技能》		時事英語の特性およびICTの活用による情報獲得能力を身につける。														
	《態度・志向性》		生涯にわたって英語を学ぶ姿勢と方法を習得する。														
授業概要	様々なメディアを通して発信される世界中のニュースに英語で触れることによって、世界の現状を知る。社会・文化・教育・科学・環境問題など多様な英語に接し、Reading, Listening, Speaking, Writingといった英語運用能力を多角的に培えるようにする。										授業内での書き取り、英文和訳等						
授業の到達目標	時事英語の特性を理解し、ニュース英語の基礎的知識を習得する。媒体によって異なる英語の特性を把握し、ニュース内容を把握する基礎的能力を身につける。																
単位認定の要件	期末試験(70%)授業内活動(30%)の合計が60点以上で単位認定とする。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法について)Unit 1 導入 予習:(30分) 授業初回分は使用テキストの内容確認 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。															
	2	Unit1: Hitmaker ① ※①②は語彙/視聴/書き取り等。③は本文内容確認問題含む。以下各回同様。 予習:(30分) 本時の学習内容の確認。 復習:(30分) 本時の学習内容の定着を図る。															
	3	Unit1: Hitmaker ② 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
	4	Unit1:Hitmaker ③ 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
	5	Unit2:Budget Train Gives Rich Rewards ① 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
	6	Unit2: Budget Train Gives Rich Rewards ② 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
	7	Unit2: Budget Train Gives Rich Rewards ③ 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
	8	Unit3: Lifesaver for Type 1 Diabetes Patients ① 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
	9	Unit3: Lifesaver for Type 1 Diabetes Patients ② 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
	10	Unit3: Lifesaver for Type 1 Diabetes Patients ③ 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
	11	Unit4: Think Globally, Graze Locally ① 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
	12	Unit4: Think Globally, Graze Locally ② 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
	13	Unit4:Think Globally, Graze Locally ③ 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
	14	Unit 5: Japanese Family Steps Up to Support Evacuee ① ② 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)本時の学習内容の定着を図る。															
15	Unit 5: Japanese Family Steps Up to Support Evacuee ③ 前期授業総括 予習:(30分)本時の学習内容の確認。 復習:(30分)前期学習内容の振り返りと定着を図る。																
教科書・教材	『NHK NEWSLINE SPECIAL EDITION』山崎達郎・Stella M. Yamazaki 編著 KINSEIDO ¥2800+税																
参考書・参考文献等	特になし。																
履修上の注意等	時事英語は難しいですが、授業内活動に関しては受け身にならず、積極的に取り組むこと。																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															
計											100						
フィードバックの方法																	

[3146] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
時事英語Ⅱ			演習	杉本久美子	2年	後期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無							
1	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験	70	有				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末レポート					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》																
	○	○	—	○	—	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	授業内提出物	
											授業内活動	30	有				
											その他						
											計	100					
											フィードバックの方法						
当該科目のキーワード			《知識・理解》		時事問題に関してメディア英語を通して理解を深める。							期末試験は採点后返却し、解答の説明を行う。授業内活動と提出物についてはその都度内容確認と所見を伝える。					
			《汎用的技能》		時事英語の特性およびICTの活用による情報獲得能力を身につける。							アクティブラーニングの有無(内容)		有			
			《態度・志向性》		生涯にわたって英語を学ぶ姿勢と方法を習得する。												
授業概要			様々なメディアを通して発信される世界中のニュースに英語で触れることによって、世界の現状を知る。社会・文化・教育・科学・環境問題など多様な英語に接し、Reading, Listening, Speaking, Writingといった英語運用能力を多角的に培養するようにする。									授業内での英文書き取り、和訳等					
授業の到達目標			時事英語の特性を理解し、ニュース英語の基礎的知識を習得する。媒体によって異なる英語の特性を把握し、ニュース内容を把握する基礎的能力を身につける。														
単位認定の要件			期末試験(70%)授業内活動(30%)の合計が60点以上で単位認定とする。														
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容													
			1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法について) 前期学習内容の確認 Unit 6 導入 予習:(30分)前期の学習内容を再度確認 復習:(30分)本時の学習内容を復習する。													
			2	Unit 6: Advocate for Abduction Issue Remembered ① ※①②語彙/視聴/書取り/内容把握等 ③本文内容確認問題含む。 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			3	Unit 6: Advocate for Abduction Issue Remembered ② ※授業内活動として英文和訳を含む。以下同様。 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			4	Unit 6: Advocate for Abduction Issue Remembered ③ 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			5	Unit 7: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story ① 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			6	Unit 7: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story ② 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			7	Unit 7: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story ③ 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			8	Unit 8: A New View of Hokusai ① 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			9	Unit 8: A New View of Hokusai ② 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			10	Unit 8: A New View of Hokusai ③ 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			11	Unit 9: Space Development Board Game ① 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			12	Unit 9: Space Development Board Game ② 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			13	Unit 9: Space Development Board Game ③ 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			14	Unit 10: In Memory of Monty ①② 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)本時の学習内容の復習と定着を図る。													
			15	Unit 10: In Memory of Monty ③ 後期授業総括 予習:(30分)本時の学習内容の確認 復習:(30分)後期の学習内容の振り返りと定着を図る。													
教科書・教材			『NHK NEWSLINE SPECIAL EDITION』山崎達郎・Stella M. Yamazaki 編著 KINSEIDO ¥2800+税														
参考書・参考文献等			特になし。														
履修上の注意等			時事英語は難しいですが、授業内活動に関しては受け身にならず、積極的に取り組むこと。														
実務経験との関連			実務経験の有無	無													

[3147] 外国語科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科								
ドイツ語 I			演習		齋藤義彦		2年	前期	健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無					
1	15	30	必修	選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者		期末試験	60	有		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート		
	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	授業内小テスト		無
															授業内提出物		無
														授業内活動	10	有	
														その他	30	有	
														計	100		
														フィードバックの方法			
当該科目のキーワード	《知識・理解》		異文化の理解									毎回前回授業に対する理解や質問を提出。その内容をピックアップして授業開始時に回答します。					
	《汎用的技能》		コミュニケーションスキル									アクティブラーニングの有無(内容)			有		
	《態度・志向性》																
授業概要	初級ドイツ語文法の理解を踏まえ、初級ドイツ語会話に相当するコミュニケーション能力の基礎の習得を目的とする。またビデオ教材の併用によって、視覚効果を利用した聞き取り、発声練習を中心にした。また言語の背景にある欧州、ドイツの歴史を適宜紹介する。											対話型コミュニケーション教員一学生 生学生一学生					
授業の到達目標	①名詞の格変化 ②規則動詞の人称変化 ③不規則動詞の人称変化 ④自己紹介 ⑤買い物表現 ⑥話法の助動詞を用いた表現、以上の基礎を理解し、応用する力をつける。																
単位認定の要件	授業到達目標の理解が60%以上で合格。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	Lektion 0「あかざたなはまやらヴァン」、ドイツ語の読み方 予習復習については履修上の注意を参照。以下同じ。															
	2	Lektion 1「こんにちは、ミュンヘン」、人称代名詞と動詞の現在人称変化、音読練習 予習:(分) 復習:(分)															
	3	Lektion 1 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)															
	4	Lektion 2「クラウディア、町へ行く」、定冠詞・不定冠詞・所有冠詞、音読練習 予習:(分) 復習:(分)															
	5	Lektion 2 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)															
	6	Lektion 3「住居共同体」、不規則動詞の現在人称変化、音読練習 予習:(分) 復習:(分)															
	7	Lektion 3 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)															
	8	Lektion 1～Lektion 3までの復習、別冊問題集 予習:(分) 復習:(分)															
	9	Lektion 4「ザルツブルクへの旅」、指示代名詞、分離動詞の現在人称変化、音読練習 予習:(分) 復習:(分)															
	10	Lektion 4 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)															
	11	Lektion 5「ミヒャエルの一日」、前置詞の格支配、人称代名詞、音読練習 予習:(分) 復習:(分)															
	12	Lektion 5 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)															
	13	Lektion 6「オリンピックパークにて」、話法の助動詞、音読練習 予習:(分) 復習:(分)															
	14	Lektion 6 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)															
15	Lektion4～Lektion 6までの復習、別冊問題集 予習:(分) 復習:(分)																
教科書・教材	教科書:関ロー郎著『ハロー・ミュンヘン・ノイ』(白水社)																
参考書・参考文献等	特になし																
履修上の注意等	予習・復習時には必ず音読すること。授業中には、常に声を出すことが要求される。レポートの様式は、縦A4版横書きでお願いします。予習:(30分)授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。復習:(15分)授業内容について振り返りを行う。																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

[3148] 外国語科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科							
ドイツ語Ⅱ			演習		齋藤義彦		2年	後期	健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無				
1	15	30	必修	選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者		期末試験	60	有	
学士士の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		《汎用的技能》 コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				《態度・志向性》 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
	○		○		—		○		—		—		—		—	
	○		○		—		○		—		—		—		—	
	○		○		—		○		—		—		—		—	
当該科目のキーワード	《知識・理解》 《汎用的技能》 《態度・志向性》		異文化の理解		コミュニケーションスキル								毎回前回授業に対する理解や質問を提出。その内容をピックアップして授業開始時に回答します。			
													アクティブラーニングの有無(内容)	有		
													対話型コミュニケーション教師一学生学生一学生			
授業概要			前期で学習したドイツ語に加えて、後期も初級ドイツ語の文法の理解と初級ドイツ語会話に相当するコミュニケーション能力の習得を目的とする。またビデオ教材の併用によって、視聴覚的効果を利用した聞き取り、発声練習を中心にした。また言語の背景にある欧州、ドイツの歴史を適宜紹介する。													
授業の到達目標			①形容詞の格変化 ②3基本形 ③動詞の過去人称変化 ④現在完了形 ⑤町などの説明力 ⑥週末の過ごし方の表現、以上の基礎を理解し、応用する力をつける。													
単位認定の要件			授業到達目標の理解が60%以上で合格。													
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容												
			1	Lektion 7 “買物”、形容詞の格変化、形容詞の比較変化、音読練習 予習復習については履修上の注意を参照。以下同じ。												
			2	Lektion 7 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
			3	Lektion 8 “週末には”、動詞の三基本形、過去と現在完了、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
			4	Lektion 8 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
			5	Lektion 7～Lektion 8までの復習、別冊問題集 予習:(分) 復習:(分)												
			6	Lektion 9 “ベルリンについて”、文語の過去、受動文、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
			7	Lektion 9 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
			8	Lektion 10 “ドイツ博物館”、再帰代名詞と再帰動詞、zu不定詞句、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
			9	Lektion 10 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
			10	Lektion 9～Lektion 10までの復習、別冊問題集 予習:(分) 復習:(分)												
			11	Lektion 11 “ルートヴィヒ2世”、関係代名詞、不定関係代名詞、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
			12	Lektion 11 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
			13	Lektion 12 “さようなら!”、接続法第1式、接続法第2式、音読練習 予習:(分) 復習:(分)												
			14	Lektion 12 本文解説、口頭練習(roleplaying)、練習問題 予習:(分) 復習:(分)												
			15	Lektion 10～Lektion 12までの復習、別冊問題集 予習:(分) 復習:(分)												
教科書・教材			教科書:関ロー郎著『ハロー・ミュンヘン・ノイ』(白水社)													
参考書・参考文献等			特になし													
履修上の注意等			予習・復習時には必ず音読すること。授業中には、常に声を出すことが要求される。レポートの様式は、縦A4版横書きでお願いします。予習:(30分)授業内容について事前に学習する。内容はその前の回に伝える。復習:(15分)授業内容について振り返りを行う。													
実務経験との関連			実務経験の有無	無												

[3150] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科																				
フランス語Ⅱ			演習	工藤貴子	2年	後期	健康栄養学科																				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無																	
1	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導者	期末試験	80	有														
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末レポート															
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	10	有											
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》																										
	授業内提出物													授業内活動	10	有											
											その他																
											計	100															
											フィードバックの方法																
<table border="1"> <tr> <td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td> </tr> </table>													○	○	○	○	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○
○	○	○	○	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○													
当該科目のキーワード	《知識・理解》		フランス語のしくみと文化の理解				期末試験答案は模範解答と共に返却、小テストや提出課題は次回授業で返却し、解答の解説を行う																				
	《汎用的技能》		フランス語を介した情報交換と論理的思考				アクティブラーニングの有無 (内容)					有															
	《態度・志向性》		ペア・グループワークを通じた他者や多文化への関心																								
授業概要	コミュニケーションに役立つ表現を学習の中心に据え、それを正しく運用するための基礎的な文法が身につくように説明します。また、語学学習は異文化や他者へと開く意でもあります。フランスの情熱や文化紹介が豊富なテキストを用いて、自分自身や自国の文化を見直したり、今まで持っていたフランスのイメージを更新することも目指します。											グループワーク、発見学習、グループディスカッション															
授業の到達目標	「道順を説明する」「時刻を尋ねる」「行きたいところを言う」など日常のありふれた場面で遭遇しそうな身近なテーマを通して、フランス語の基礎的文法と会話表現が身につくようになります。また、また、映像や写真、データを通して、フランス事情、とりわけ地方ごと、年中行事ごとにも楽しめる伝統的料理やスイーツの紹介、子供の食育など、フランスの食文化についても理解が深まります。																										
単位認定の要件	授業内での活動評価点、適宜行う小テスト、期末試験の合計が60点以上であること。																										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																									
	1	前期内容の復習、他者の外見や性格を知る／形容詞の性の一致、付加形容詞の位置(原則) 予習:(30分)前期内容(とくに動詞活用)の復習 復習:(15分)形容詞の女性形の作り方の定着																									
	2	自分の外見・性格を説明する／形容詞の性数の一致、付加形容詞の位置(例外) 予習:(25分)自分の外見、性格の紹介文の下書き(日本語で) 復習:(20分)形容詞の問題演習																									
	3	付加形容詞まとめ、時間の言い方 予習:(15分)数字1-59 復習:(30分)時間の言い方音読(テキスト37ページ)																									
	4	時間の言い方／数字を使わない「～分」の言い方 予習:(15分)テキスト37ページvocabularyを聴き、発音練習 復習:(30分)テキスト38ページexercices																									
	5	疑問形容詞、好きなものを使う 予習:(15分)テキスト39ページvocabularyを聴き、発音練習 復習:(30分)テキスト39ページdialogue音読																									
	6	好きなものを使う、定冠詞 予習:(15分)テキスト39ページdialogue音読 復習:(30分)練習問題を再度解き、不定冠詞と定冠詞の違いを確認する																									
	7	部分冠詞、動詞《vouloir》活用 予習:(10分)第8課ディアローグ内容理解 復習:(35分)部分冠詞の使い方の理解、《vouloir》活用練習																									
	8	部分冠詞と不定冠詞の違い、動詞《prendre》活用 予習:(20分)《vouloir》活用小テスト準備 復習:(25分)不定冠詞と部分冠詞問題演習																									
	9	料理のレシピを読む／命令形 予習:(20分)《prendre》活用小テスト準備 復習:(25分)命令形問題演習																									
	10	行きたいところを言う／動詞 aller 活用、定冠詞(復習)、前置詞 à と定冠詞の縮約(口頭練習) 予習:(15分)第7課ディアローグ内容理解 復習:(30分)動詞aller 活用練習																									
	11	行きたいところを言う／前置詞 à と定冠詞の縮約(問題演習)、動詞 venir 活用 予習:(20分)第6課ディアローグ音読、aller 活用小テスト準備 復習:(25分)前置詞 à と定冠詞の縮約練習問題を再度解く																									
	12	道を尋ねる、教える 予習:(20分)テキスト51ページdialogue内容理解 復習:(25分)道の教え方の表現定着																									
	13	道を尋ねる、教える 予習:(20分)テキスト51ページdialogue音読と暗唱 復習:(25分)テキスト51ページexercices再度解く																									
	14	位置を説明する 予習:(15分)テキスト61ページvocabulary聞く 復習:(30分)位置を説明する前置詞の定着																									
15	天候を尋ねる、言う 予習:(15分)テキスト67ページvocabulary聞く 復習:(30分)天候の言い方定着)																										
教科書・教材	安積みづのほか著、Ça va ? À haute voix 『サヴァ? 大きな声で』(三修社)																										
参考書・参考文献等	食関連: 池上俊一『お菓子がたどるフランス史』(岩波ジュニア新書)、パトリス・ジュリネ『美食の歴史2年』(原書房)、磯野真穂『ダイエット幻想』(ちくまプリマー新書)、仏語関連: 清岡智比古『ハードにビビッとフランス語』(NHK出版)、『フランス語をひとつひとつわかりやすく』(学研教育出版)																										
履修上の注意等	①授業理解の補足になるよう、プリントも適宜配布しますのでその整理を怠らないようにしましょう。②教室に「いる」だけでは参加したことになりません。皆さんとの対話を重視しながら授業を進めますので、疑問や意見があれば遠慮なく問題提起してくれることを歓迎します。																										
実務経験との関連	実務経験の有無	無																									

【3304】 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科										
地域健康支援実習			実習		小沼奈緒美		2年	後期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無							
1	8	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員							
学士卒力分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末試験					
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	
			○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当該科目のキーワード			《知識・理解》		健康に関する情報の活用									授業内提出物は授業内に解説する。					
			《汎用的技能》		健康支援の立案・実施・評価														
			《態度・志向性》		-									アクティブラーニングの有無(内容) 有					
授業概要			青森県と近隣県特有の生活環境を踏まえた健康支援を解説し、地域貢献の基本理念を修得させる。地域社会の環境と健康を関連付け、地域に根ざした支援を計画・実施・評価する手法を指導・トレーニングする。また、健康情報の活用、管理、処理方法を講じ、生活環境に配慮した支援のあり方について具体例を挙げて総合討論を行う。													グループディスカッション、グループワーク			
授業の到達目標			①健康に関する情報収集、活用する方法について説明できる ②健康に関する情報を収集し、活用することができる ③健康支援の計画・実施・評価の方法について説明できる ④健康支援の計画・実施・評価を実施することができる																
単位認定の要件			到達目標の①～④の合計が60点以上																
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容															
			1	健康に関する情報収集 文献やインターネットによる健康情報の収集方法を知り、所定のテーマについて科学的根拠のある情報を調べ、要約する方法を学ぶ 予習:(90分) シラバス、1年次の地域健康支援論を復習しておくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。															
			2	健康に関する情報の活用 国や青森県等の健康課題について科学的根拠のある情報を調べ、要約する方法を学ぶ 予習:(90分) 事前に指示した資料を読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。															
			3	わが国における健康支援プログラム 健康課題からどのような計画が立てられ、健康支援プログラムが行われているのかを学ぶ 予習:(90分) 事前に指示した資料を読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。															
			4	健康支援プログラムの立案① 地域の健康課題や生活環境を踏まえた健康支援プログラムの計画から評価までの方法について学ぶ 予習:(90分) 事前に指示した資料を読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。															
			5	健康支援プログラムの立案② 地域の健康課題や生活環境を踏まえた健康支援プログラムの計画から評価までの方法について学ぶ 予習:(90分) 事前に指示した資料を読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。															
			6	健康支援プログラムの発表 作成した健康支援プログラムについて発表を行い、意見交換を通して理解を深める 予習:(90分) 事前に指示した資料を読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。															
			7	食生活に関する調査 地域集団を対象した課題抽出のための情報収集・食生活調査法について学ぶ 予習:(90分) 事前に指示した資料を読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。															
			8	まとめ 本実習のまとめを行い、これからの地域健康支援の方向性を考察する 予習:(90分) 事前に指示した資料を読んでおくこと。 復習:(90分) 授業内容を振り返り理解を確実にすること。															
教科書・教材			特になし																
参考書・参考文献等			プリント配布																
履修上の注意等			1年次科目(地域健康支援論、健康衛生学、健康教育論等)をしっかり復習し授業に臨んでください。授業内のミニレポートを評価に含めます。グループでの演習・発表については授業内で指示します。																
実務経験との関連			実務経験の有無	有	長年の行政栄養士の経験を活かし、健康寿命の延伸・健康格差を縮小するため、地域の健康問題に関する健康情報の利用方法、情報管理や情報処理を学び、地域に根ざした健康支援のマネジメント能力を修得する科目である。														

【3305】 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
健康科学実習			実習	佐藤瑞穂	2年	前期	健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無									
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理査	期末試験								
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			1		○						○	○	○	○	○	○	○	○	
			《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》						
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力			
			○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	
当該科目のキーワード			《知識・理解》		栄養アセスメント														
			《汎用的技能》		食事調査、情報収集														
			《態度・志向性》		健康課題の抽出、解決方法の計画、実施、評価														
授業概要			幼児から高齢者までの健康を科学的に解析し、食生活や身体活動に関わる「からだ」と「こころ」「社会」の視点を導入して健康管理のあり方を学び、実践的能力を養う。特に青森県と東北地域に特化して、個人・家族・集団での健康意識の向上や改善等を支援するために、科学的根拠に基づいた情報収集を実習に取り入れる。本実習は健康を科学することから健全な社会と豊かな生活環境を目指すものである。																
授業の到達目標			①身体状況及び栄養状態を把握する方法と各方法の特徴について理解できる。 ②個人及び集団の食事調査の結果を評価することができる。 ③地域の健康課題について情報を収集し、活用する方法を理解できる。																
単位認定の要件			到達目標の①～③の合計が60点以上																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容															
			1	オリエンテーション(班分け、調査スケジュール及び各種測定機器の使用法の説明等) 予習:(15分)配布資料の確認 復習:(30分)実習スケジュールの確認、配布資料の確認															
			2	身体計測、身体活動及びライフスタイルの調査 予習:(30分)資料の該当部分を読む 復習:(60分)演習を完成させる。															
			3	身体状況の把握 予習:(30分)資料の該当部分を読む 復習:(60分)演習を完成させる。															
			4	栄養状態の把握～栄養調査の実践～ 予習:(30分)資料の該当部分を読む 復習:(60分)演習を完成させる。															
			5	健康課題の把握(1)個人における身体状況及び栄養状態の評価 予習:(30分)資料の該当部分を読む 復習:(60分)演習を完成させる。															
			6	健康課題の把握(2)集団の健康管理において 予習:(30分)資料の該当部分を読む 復習:(60分)演習を完成させる。															
			7	青森県及び東北地域の健康課題の把握～情報収集と意見交換～ 予習:(30分)資料の該当部分を読む 復習:(60分)各グループの発表内容を完成させる。															
			8	まとめ～健康管理のあり方について討議する～ 予習:(30分)資料の該当部分を読む 復習:(60分)各グループの発表内容を確認し、データをまとめる。															
教科書・教材			プリント配布、日本食品成分表2025(八訂)(医歯薬出版) 日本人の食事摂取基準2025(第一出版)																
参考書・参考文献等			実習内で紹介する。																
履修上の注意等			配布された演習プリントを整理して、レポートと一緒に提出できるようにしっかりとめておくこと。																
実務経験との関連			実務経験の有無	無															
											計	100							
											フィードバックの方法								
											期末レポートは採点后に返却し、解説する。								
											アクティブラーニングの有無(内容)	有							
											グループワーク、グループディスカッション、体験学習、調査学習								
											期末試験								
											期末レポート	60	有						
											授業内小テスト	30	有						
											授業内提出物								
											授業内活動	10	有						
											その他								

[3306] 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
解剖生理学			講義	福井康三・飯泉恭一	2年	後期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無					
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験						
			2		○	○						90	無				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末レポート				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
														授業内提出物			
														授業内活動	10	有	
													その他				
													計	100			
													フィードバックの方法				
当該科目のキーワード	《知識・理解》		人体の構造と機能									授業内試験について、授業中に答えを示し解説する。					
	《汎用的技能》																
	《態度・志向性》											アクティブラーニングの有無(内容)	有				
授業概要	人間は生きていくために、極めて精密で高度に分化した細胞が集まった組織や臓器が働いている。健康や病態を理解するためのからだのしくみやその機能を学修する。さらに人体を構成する消化器系・呼吸器系・泌尿器系・循環器系・内分泌系・神経系などの形態・構造と機能も学修する。特にからだの多くの器官系が協力して健康を保持する恒常性維持機構なども学修する。											講義内のキーワードに関して学生・教員間で討論する。					
授業の到達目標	人体を構成する細胞の構造と機能を説明できる。 組織の種類と構造・機能を説明できる。 各器官系を構成する器官の形態・構造と機能を説明できる。 多くの器官が協調して働く恒常性維持機構について説明できる。																
単位認定の要件	筆記試験で60%以上																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	解剖生理学と栄養学(担当:福井) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	2	神経・精神系のしくみと働き(担当:飯泉) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	3	体内時計と生体リズム(担当:飯泉) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	4	消化器のしくみと働き(担当:福井) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	5	肝臓のしくみと働き(担当:福井) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	6	腎臓のしくみと働き(担当:福井) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	7	運動器系(筋肉・骨格)のしくみと働き(担当:飯泉) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	8	循環器のしくみと働き(担当:福井) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	9	血液とリンパ系(担当:福井) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	10	呼吸器のしくみと働き(担当:福井) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	11	体温調節のメカニズム(担当:福井) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	12	血圧調節のメカニズム(担当:福井) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	13	ホルモン分泌とその調節(担当:飯泉) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	14	栄養と代謝にかかわる内分泌系(担当:福井) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
	15	免疫系のしくみと生体防御(担当:福井) 予習:60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。															
教科書・教材	『栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版(羊土社)』(2年前期開講「基礎免疫学」と同一)																
参考書・参考文献等	『栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 疾病の成り立ち 第3版(羊土社)』(2年前期開講「基礎免疫学」と同一)																
履修上の注意等	授業内容を教科書とプリントで確認すること。																
実務経験との関連	実務経験の有無	有	臨床経験を生かして、健康と疾患理解の前提となる人体構成要素(細胞、組織、器官および器官系)の構造と機能について講義する。														

[3307] 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科								
病態別生理学			講義		福井康三		2年	後期	健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無					
2	15	30	必修		選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者		期末試験	90	無		
			2		〇												
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	授業内提出物			
													授業内活動	10	有		
												その他					
												計	100				
												フィードバックの方法					
												〇 — — — — — — — — — — — —					
当該科目のキーワード		《知識・理解》		疾病の成り立ち										授業内試験について、授業中に答えを示し解説する。			
		《汎用的技能》												アクティブラーニングの有無(内容)		有	
		《態度・志向性》															
授業概要		人間の疾病にみられる臓器・器官の形態と機能の状態を学び、疾病のメカニズムを正確に把握する能力を養う。また、病態評価や診断・治療について理解を深める。臨床栄養学を修得する前に病態に対する基本的知識を幅広く深めることは重要である。特に、人体の正常な生理機能が異常をきたしたり、その調節機能の破綻による病気の身体機能の状態と発症の原因メカニズムを例示しながら、病態別の生理学を学修する。										講義内容のキーワードに関して、学生教員間で討論する。					
授業の到達目標		疾病に伴って生体に現れる基本的な病変について説明できる。各器官系の主な疾患について、病因、病態、発症の機序などを説明できる。病態評価や診断、治療の概略を理解する。															
単位認定の要件		筆記試験で60%以上															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容														
		1	診断のための身体診察と検査 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		2	加齢・疾患に伴う変化 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		3	疾患の治療 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		4	栄養障害と代謝疾患 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		5	内分泌系疾患 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		6	消化器系疾患(1) 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		7	消化器系疾患(2) 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		8	循環器系疾患(1) 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		9	循環器系疾患(2) 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		10	腎・尿路系疾患 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		11	神経・精神系疾患 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		12	呼吸器系疾患 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		13	血液系疾患 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		14	運動器(骨格系)疾患 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		15	婦人科疾患 予習:(60分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:(120分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
教科書・教材		栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 第3版 羊土社(※2年次前期科目で購入済み) 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 第3版 羊土社(※2年次前期科目で購入済み)															
参考書・参考文献等		その他必要に応じて指定する。															
履修上の注意等		授業内容を配布資料と教科書で確認すること。															
実務経験との関連		実務経験の有無	有	長年の臨床経験を生かして、疾病の病態と栄養の関りおよび栄養療法の意義について講義する。													

[3310] 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科									
栄養生理学			講義		飯泉恭一		2年	前期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格					単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修		選択			管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭				食品衛生 監視員・監視者		
2	15	30	2					○	○									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験	80	有		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	期末レポート		
	○	—	○	—	—	—	○	—	○	—	—	—		—	○	○	○	有
	計													100				
フィードバックの方法																		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		消化・吸収、恒常性										提出課題は、正解と解説を記して返却する。					
	《汎用的技能》		論理的思考と文章による表現															
	《態度・志向性》		自分に適した学習方法の確立										アクティブラーニングの有無 (内容)		有			
授業概要	本授業では、食物が消化吸収されるメカニズムと吸収された栄養素を利用して維持される生命現象のメカニズムを学ぶ。主として器官・臓器レベルの内容となるが、細胞レベルや生化学の内容とも関連付けながら解説する。さらにメタボリックシンドロームなどの生活習慣病の機序や予防法についても解説する。授業内小テスト(論述を含む)により知識の定着を図るので、予習と復習が不可欠である。											グループごとの問題作成・解説を通して、重要項目の深い理解を得る。						
授業の到達目標	1. 生命を維持する機能(消化器系、循環器系、呼吸器系、泌尿器系、内分泌系)を理解する。 2. 生命を活用する機能(神経系、筋系)について理解する。 3. 生体防御と種を保存する機能(免疫系、生殖系)について理解する。																	
単位認定の要件	到達目標の達成が60%以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	序論 予習:0(分) 復習:180(分) 授業の進め方を確認し、適切に予習・復習するための準備をする。																
	2	細胞の構造と機能 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	3	消化器系の構造と機能 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	4	循環器系の構造と機能 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	5	呼吸器系の構造と機能 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	6	泌尿器系 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	7	血液の構成 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	8	神経系の構造と機能 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	9	内分泌系 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	10	筋収縮 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	11	生殖系 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	12	免疫系(体液性免疫) 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	13	免疫系(細胞性免疫) 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
	14	生活習慣病 予習:60(分) 教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分) 重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
15	まとめ 予習:60(分) これまでの範囲で理解できなかった箇所を明らかにする。 復習:120(分) 問題演習を通して、知識の定着をはかる。																	
教科書・教材	『ぜんぶわかる 人体解剖図 (成美堂出版)』 ※人体の構造を理解するための資料集として用います。 上記教科書の他に配布資料も用意します。																	
参考書・参考文献等	『栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版(羊土社)』 ※2年前期開講「基礎免疫学」の教科書です。 『からだが見える (メディックメディア)』																	
履修上の注意等	授業中や授業後の積極的な質問を歓迎する。毎回小テスト(前回の復習)を実施するので、復習は必ず実施すること。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																

[3311] 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科								
基礎免疫学			講義		福井康三		2年	前期	健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無					
2	15	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	期末試験		90	無	
					2		○						期末レポート				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任		生涯学習力	授業内提出物		
	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		授業内活動	10	有	
	計		100		フィードバックの方法												
当該科目のキーワード		《知識・理解》		自然免疫・獲得免疫・感染防御・アレルギー・自己免疫疾患・腫瘍と免疫										授業内試験について、授業中に答えを示し解説する。			
		《汎用的技能》												アクティブラーニングの有無(内容)		有	
授業概要		生体のホメオスタシス維持のため、種々の細胞や分子を動員しながら、一つの生体防御システムとして機能する免疫系の基礎科学を理解し、「栄養と免疫」や「運動と免疫」の知識を修得させる。免疫システムが発見された歴史から始まり、免疫システムの全体像、作用機構、制御機能のしくみなど、基本メカニズムを理解して、炎症、アレルギー、食物アレルギー、自己免疫疾患、がんと免疫の臨床免疫分野との関わりも学修する。										講義内のキーワードに関して学生・教員間で討論する。					
授業の到達目標		免疫システムを構成する細胞・組織・分子、自然免疫と獲得免疫、異物認識機構、感染における免疫反応など、免疫系による生体防御反応の基礎的知識を修得する。また腫瘍免疫や、免疫系が生体に不利益に働くアレルギー、自己免疫疾患についても理解する。															
単位認定の要件		筆記試験で60%以上															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容														
		1	免疫とは何？ 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		2	非特異的防御機構 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		3	生体防御と抗原提示 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		4	体液性免疫 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		5	細胞性免疫 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		6	免疫的自己の確立と破綻 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		7	免疫系の異常による疾患 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		8	アレルギーとは 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		9	食物アレルギー 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		10	免疫グロブリン-5つのクラス 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		11	HLAとは 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		12	AIDS 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		13	膠原病 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
		14	腫瘍と免疫 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。														
15	再生医療と免疫-IPS細胞 予習:60(分)教科書の該当箇所を読み、キーワードを確認する。 復習:120(分)重要項目を理解し、知識の定着をはかる。																
教科書・教材		栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 第3版 羊土社(2年次後期科目も使用)															
参考書・参考文献等		栄養科学イラストレイテッド 臨床医学 第3版 羊土社(2年次後期科目も使用) その他必要に応じて指定する。															
履修上の注意等		授業内容を教科書とプリントで確認すること。															
実務経験との関連		実務経験の有無	有	臨床経験を生かして、免疫学の基本的な知識と免疫系が関与する疾患および臨床応用について講義する。													

【3315】 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科							
栄養生化学実験			実験		奥野海良人		2年	後期	健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無				
1	8	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員				
			1				○									
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ			倫理観
			○	—	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	—	—
当該科目のキーワード			《知識・理解》		病気と栄養の理解								全ての実験結果は総合討論で解説する。実験ノートは採点し、コメントを添えて返却する。			
			《汎用的技能》		客観的な観察力											
			《態度・志向性》		共同作業の重要性								アクティブラーニングの有無(内容)	無		
授業概要			各栄養素の代謝調節を中心に、体内の化学反応はどのように起こるのか、栄養素はどのように代謝されてエネルギーになるかなど基礎的知識を実験で確認し、生体内での栄養素の代謝についての理解を深める。また、肝障害モデル動物を用いて、健康に関連する生体内代謝に及ぼす影響を考察し、栄養と健康の科学的視点を深めることが目的である。													
授業の到達目標			1)実験の基本操作、基礎技術を修得する 2)これまで各教科で学修した知識を科学的に確認して理解する能力を深める 3)生体の構造と機能を学び、予防医学の栄養に関する知識を極める													
単位認定の要件			総合討論により実験ノートを充実させ、科学的な判断力を評価する。													
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容												
			1	実験の目的と方法の説明 予習:(45分)統計学的な検定方法について調べて学んでおく。 復習:(45分)行った実験、今後の実験計画等を実験ノートやレポート等にまとめる。												
			2	病態(糖尿病)モデルラットの作成と解剖 予習:(45分)糖尿病の種類と病態的特徴について調べてまとめる。 復習:(45分)行った実験等を実験ノートやレポート等にまとめる。												
			3	門脈・肝静脈の血糖測定 予習:(45分)糖尿病における血糖値の調節について詳細に調べてまとめる。 復習:(45分)行った実験等を実験ノートやレポート等にまとめる。												
			4	門脈・肝静脈の血中中性脂肪測定 予習:(45分)糖尿病における脂肪の代謝の特徴について詳細に調べてまとめる。 復習:(45分)行った実験等を実験ノートやレポート等にまとめる。												
			5	肝臓グリコーゲンの抽出と定量分析 予習:(45分)糖尿病における血糖値の調節における肝臓の関わりについて調べてまとめる。 復習:(45分)行った実験等を実験ノートやレポート等にまとめる。												
			6	筋肉グリコーゲンの定量分析 予習:(45分)糖尿病における血糖値の調節における筋肉の関わりについて調べてまとめる。 復習:(45分)行った実験等を実験ノートやレポート等にまとめる。												
			7	肝臓中性脂肪の定量分析 予習:(45分)糖尿病におけるリポタンパク質について詳細に調べてまとめる。 復習:(45分)行った実験等を実験ノートやレポート等にまとめる。												
			8	総合討論 予習:(45分)課題および実験の考察内容をプレゼン用にパワーポイントにまとめ、発表練習を行う。 復習:(45分)すべての実験を総括して報告書にまとめ、提出する。												
教科書・教材			特になし													
参考書・参考文献等			・健康・栄養科学シリーズ 基礎栄養学(南江堂) ・健康・栄養科学シリーズ 生化学(南江堂) ・生化学、生理学、解剖学に関する教科書													
履修上の注意等			各自で実験ノート(A4サイズ)に、実験内容及び結果を記録する。													
実務経験との関連			実務経験の有無	無												

【3316】 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
栄養生理学実験			実験	飯泉恭一	2年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員	管理査							
			1		○							期末試験						
												期末レポート						
												授業内小テスト						
												授業内提出物			50	有		
												授業内活動			50	有		
												その他						
												計			100			
												フィードバックの方法						
															提出課題は、コメントを記して返却する。			
															アクティブラーニングの有無(内容)			有
学力士の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			《知識・理解》 基礎知識の体系的理解	《汎用的技能》 コミュニケーションスキル	《態度・志向性》 自己管理能力	《知識・理解》 文化・社会・自然	《汎用的技能》 数量的スキル	《態度・志向性》 チームワーク	《知識・理解》 倫理的思考力	《汎用的技能》 情報リテラシー	《態度・志向性》 リーダーシップ	《知識・理解》 倫理観	《汎用的技能》 社会的責任	《態度・志向性》 生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			
当該科目のキーワード			《知識・理解》	消化・吸収、恒常性	《汎用的技能》	論理的思考と文章による表現	《態度・志向性》	安全に実験を実施するためのチームワーク								グループディスカッションとプレゼンテーション		
授業概要			この授業の目的は、栄養生理学の講義で得た知識を実験により確認し、より深く理解することである。さらに、実験ノートの作成を通して、論理的で明快な文章の書き方を身につける。											グループディスカッションとプレゼンテーション				
授業の到達目標			1. 栄養生理学に関する実験の基本操作、基礎技術を修得する。 2. 実験を通して、栄養生理学で学んだ知識を深く理解する。 3. 報告書の作成を通して、わかりやすい文章の書き方を身につける。 4. 総合討論を通して、共同で問題を解決する能力を養う。															
単位認定の要件			到達目標の達成が60%以上															
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容														
			1	実験の諸注意および顕微鏡の扱い方 予習:0(分) 復習:180(分) 授業の進め方を確認し、適切に予習・復習するための準備をする。														
			2	消化酵素の特徴 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			3	糖質の特徴 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			4	味覚とその受容体 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			5	反転腸管の作製 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			6	反転腸管を用いたグルコース輸送の確認 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			7	PCR法の原理 予習:60(分) 図書館で文献を読み、学習項目の概要を確認する。 復習:120(分) 結果を実験ノートに記載し、図書館等の文献を参考にして考察をまとめる。														
			8	総合討論 予習:120(分) グループごとに議論し、プレゼンテーションの準備をする。 復習:60(分) プレゼンテーションの内容を実験ノートに記載しまとめる。														
教科書・教材			配付資料を用意する。															
参考書・参考文献等			授業内で紹介する。															
履修上の注意等			各自で実験ノート(A4サイズ)を用意し、実験記録と実験報告を作成する。															
実務経験との関連			実務経験の有無	無														

[3317] 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
食品学			講義	富田雅弘	2年	前期	健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無					
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員					
			2		○	○		○	○						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ		倫理観	社会的責任	生涯学習力
	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—		—	—	○
	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—		—	—	○
当該科目のキーワード	《知識・理解》		食品の変質・安全性の理解									期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他 計 100 フィードバックの方法			
	《汎用的技能》		国家試験問題解決力												
	《態度・志向性》		アクティブラーニングの有無(内容)										無		
授業概要	人間が健康に生きていくうえで必要な、食品の変化・変質・有害物質・汚染物質についての科学的知識を学修する。それらの防止や安全を確保する方法や添加物などを学修する。これらによって安全で安心して食べるための食品衛生的な知識を修得する。														
授業の到達目標	食品の成分間反応・変質・変質の防止を理解する。 食の安全安心を脅かす事柄を理解する。 食性病害(食中毒)を知り、その予防方法についての認識を高める。 食品添加物について理解する。 管理栄養士国家試験の問題が解けることを目標とする。														
単位認定の要件	筆記試験、受講内活動の合計が60点以上														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	食品の変化(酸化・褐変) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの食品の成分変化(褐変・脂質の酸化)に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	2	食品の変化(老化・その他の変化) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの食品の成分変化(その他)に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	3	食品変質により生ずる有害物質(アクリルアミド・ヘテロサイクリックアミン・ニトロソアミン など) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品変化により生ずる有害物質に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	4	食品変質により生ずる有害物質(トランス脂肪酸 など)・初期腐敗鑑別 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品変化により生ずる有害物質に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	5	変質の防止(水分と水分活性・糖蔵・塩蔵・乾燥・冷凍) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品学Ⅰの水分活性に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	6	変質の防止(加熱・紫外線・放射線・酢漬け・燻煙・低温障害・CA貯蔵・MA包装) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の変質の防止に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	7	自然毒中毒(動物性) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の自然毒食中毒に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	8	自然毒中毒(植物性) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の自然毒食中毒に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	9	食品中の汚染化学物質(化学物質・放射線・農業関連・ポジティブリスト・安全評価) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品中の汚染物質に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	10	食品中の汚染化学物質(化学物質・放射線・農業関連・ポジティブリスト・安全評価) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品中の汚染物質に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	11	食品添加物(法令・表示) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品添加物の安法令・表示に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	12	食品添加物(種類と用途) 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品添加物種類と用途に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	13	食品衛生行政と法規・衛生管理 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品衛生行政と法規に関する管理栄養士国家試験を解く。													
	14	規格基準・包装材・食料と環境 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品衛生管理に関する管理栄養士国家試験を解く。													
15	食品の物性 予習:(60分)教科書の上記内容のところをよく読んでくる。 復習:(90分)食品衛生学の食品衛生管理に関する管理栄養士国家試験を解く。														
教科書・教材	松岡麻里・小田隆弘・富田雅弘等共著「新入門食品衛生学」(南江堂) 水品善之・菊崎泰枝・小西洋太郎 編、栄養科学イラストレイテッド「食品学Ⅰ」(羊土社) 講義プリント配布														
参考書・参考文献等	その他各社の食品衛生学・食品学総論														
履修上の注意等	食べ物と健康の食品学総論分野と食品衛生学分野の内容である。教科書2種類必要となる。また、配布したプリントは、ファイルして管理栄養士国家試験勉強に使用のこと。														
実務経験との関連	実務経験の有無	無													

【3322】 専門教育科目 専門基礎分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科													
食品学実験			実験	富田雅弘	2年	後期	健康栄養学科													
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無								
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理者										
			1		○	○					期末試験									
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》						
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末試験	期末レポート		
			○	—	—	—	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—	○	授業内小テスト		
															授業内提出物	65	有			
															授業内活動	35	無			
															その他					
															計	100				
															フィードバックの方法					
															レポート返却					
															アクティブラーニングの有無(内容)			有		
															グループワーク・グループディスカッション					
当該科目のキーワード			《知識・理解》			実験方法・思考法の理解						レポート返却								
			《汎用的技能》			報告書(レポート)作成														
			《態度・志向性》			協力														
授業概要			食品中の成分を分析し、食品成分表に基づく食品栄養成分の定量分析や品質測定を行う。食品学実験の基礎となる化学的知識と実験技術の習得だけでなく、実験の心得を念頭に食品分析の定量実験の重要性を理解する。また、実験のレポート作成における実験結果のまとめや考察の記述手順と客観的な表記を学習する。									グループワーク・グループディスカッション								
授業の到達目標			実験の基本操作、基礎技術の修得。実験データの読み方と取り扱い方の修得。論理的思考法の習得。																	
単位認定の要件			レポート・実験技術習熟度・実験参加態度で60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容																
			1	ガイダンス 予習:(分) 復習:(分)																
			2	水分の定量・酸度の定量 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。																
			3	灰分の定量・食塩の定量 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。																
			4	タンパク質の定量(試料の調製・評定) 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。																
			5	タンパク質の定量(試料の定量) 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。																
			6	ビタミン(アスコルビン酸)の定量 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。																
			7	過酸化化物の測定 予習:(60分) 実験の目的および方法をよく理解する。 復習:(90分) 実験内容をまとめ求められた数値を計算し、統計処理もし、レポートを書き、理解を深める。																
			8	総合討論 予習:(90分) プレゼンテーションの準備をする。 復習:(60分) 実験やプレゼンテーションについて理解する。																
教科書・教材			特になし(プリント配布)																	
参考書・参考文献等			日本食品成分表、食品学実験等の実験書(特定なし)																	
履修上の注意等			実験終了まで行うので、実験当日は、授業の後には予定を入れないこと。欠席した場合は、正当な理由がある場合に限り許可すが、回数が2回以上の場合、補講する。実際の実験では同じ時間で二つの内容に分かれて行う。																	
実務経験との関連			実務経験の有無	無																

【3326】 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
基礎栄養学実験			実験	奥野海良人	2年	前期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無					
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員	期末試験						
			1		○	○					期末レポート						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力			
	○	—	—	○	—	—	○	○	—	○	—	—	—	—			
	計			100			フィードバックの方法										
当該科目のキーワード	《知識・理解》		健康と栄養									全ての実験結果は総合討論で解説する。実験ノートは採点し、コメントを添えて返却する。					
	《汎用的技能》		客観的な観察力									アクティブラーニングの有無(内容)			無		
	《態度・志向性》		共同作業の重要性														
授業概要	基礎栄養学実験の心構えや事前準備から始まり、栄養素の定量実験、実験動物を用いた栄養学実験、肝臓などの生体成分と血液の生化学成分を分析する。この動物実験からヒトの栄養学を考え、食べることの栄養学的意義と摂取する栄養素の違いによる生体側の応答を理解する。また、摂食前の空腹時と満腹時における栄養素代謝の相違から食と栄養の重要性を考える。																
授業の到達目標	1) 実験の基本操作、基礎技術を修得する 2) これまで各教科で学修した知識を科学的に確認して理解する能力を深める 3) 生命の尊さと動的栄養学的重要性を知る																
単位認定の要件	総合討論により実験ノートの内容を充実させ、科学的な判断力を評価する。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	実験の目的と方法の説明・比色定量の解説と修得 予習:(45分)光の波長とランベールの法則について調べ、吸光度によって目的化合物の濃度の測定原理を理解しておく。 復習:(45分)行った実験、今後の実験計画等を実験ノートやレポート等にまとめる。															
	2	絶食と栄養摂取したラットの解剖と採血 予習:(45分)消化器とその付属器官とその働き、および三大栄養素の消化吸收の過程についてまとめる。 復習:(45分)行った実験結果、そこから考えられること等を実験ノートやレポート等にまとめる。															
	3	門脈・肝静脈の血糖測定 予習:(45分)満腹時、空腹時における血糖値の調節に関わるホルモンとその働きについて詳細に調べてまとめる。 復習:(45分)行った実験結果、そこから考えられること等を実験ノートやレポート等にまとめる。															
	4	肝臓グルコース-6-ホスファターゼ活性の測定 予習:(45分)満腹時、空腹時における糖新生と解糖系のバランスの調節に関わる仕組みについて調べてまとめる。 復習:(45分)行った実験結果、そこから考えられること等を実験ノートやレポート等にまとめる。															
	5	肝臓グリコーゲンの抽出と定量分析 予習:(45分)満腹時、空腹時の血糖値の調節における肝臓の関わりについて調べてまとめる。 復習:(45分)行った実験結果、そこから考えられること等を実験ノートやレポート等にまとめる。															
	6	筋肉グリコーゲンの定量分析 予習:(45分)満腹時、空腹時の血糖値の調節における筋肉の関わりについて調べてまとめる。 復習:(45分)行った実験結果、そこから考えられること等を実験ノートやレポート等にまとめる。															
	7	測定結果データの整理 予習:(45分)行った実験結果から総合的にどのような事が考えられるのか考察する。 復習:(45分)実験結果の解析から考えられること等を実験ノートやレポート等にまとめる。															
	8	総合討論 予習:(45分)課題および実験の考察内容をプレゼン用にパワーポイントにまとめ、発表練習を行う。 復習:(45分)すべての実験を総括して報告書にまとめ、提出する。															
教科書・教材	特になし																
参考書・参考文献等	・健康・栄養科学シリーズ 基礎栄養学(南江堂) ・生化学、生理学、解剖学に関する教科書																
履修上の注意等	各自で実験ノート(A4サイズ)に、実験内容及び結果を記録する。																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

[3328] 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
世代別栄養学			講義	佐藤瑞穂	2年	前期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無								
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	80	無					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末レポート						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト	20	有
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	授業内提出物			
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	—	—	—	—	—	授業内活動			
当該科目のキーワード	《知識・理解》		ライフステージ									期末試験	80	無				
	《汎用的技能》		身体状況の把握と理解									授業内小テスト	20	有				
	《態度・志向性》		栄養状態の評価									授業内提出物						
授業概要	ライフステージ各期の身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解する。具体的には、妊娠期、授乳期、新生児期、乳児期の人体の構造や生理機能の変化に伴う栄養状態の推移に相応する栄養学を学修する。さらに、この知識を深めながら、栄養状態の評価と判定(栄養アセスメント)の基礎的な考え方を学び、対象者に適した栄養マネジメントの実施と評価の基本的概念を学修する。											授業内提出物、小テストは授業内に解説する。						
授業の到達目標	①ライフステージ別の身体的特徴を理解し、説明することができる。 ②対象者の栄養状態を評価する方法を理解できる。 ③日本人の食事摂取基準等を用いて、対象者の栄養管理をする方法を理解できる。											アクティブラーニングの有無(内容)		有				
単位認定の要件	期末試験と小テストと提出物の総合評価が60点以上											グループディスカッション、グループワーク						
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	オリエンテーション・栄養マネジメント 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	2	発育・発達・加齢変化と栄養 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	3	母性栄養(妊娠期) 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	4	母性栄養(授乳期) 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	5	新生児期・乳児期栄養 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	6	幼児期栄養① 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	7	幼児期栄養② 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	8	小テスト・学童期栄養 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	9	学童期栄養 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	10	思春期栄養 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	11	成人期栄養① 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	12	成人期栄養②マネジメント演習 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	13	更年期栄養 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
	14	高齢期の栄養① 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																
15	高齢期の栄養②・まとめ 予習:(90分)教科書を事前に読んでおくこと。 復習:(90分)授業内容を振り返り理解を確実にすること。																	
教科書・教材	栄養学科イラストレイテッド応用栄養学改訂第3版(羊土社)																	
参考書・参考文献等	日本人の食事摂取基準 2025年版(第一出版)																	
履修上の注意等	毎回のミニレポートを評価に含めます。期末試験は各ライフステージにおける栄養管理の基礎的理解について問います。必ず復習をして、知識の定着を行ってください。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																

【3330】 専門教育科目 専門分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科								
応用栄養学実習			実習		佐藤瑞穂		2年	後期	健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無					
1	8	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員	期末試験				
			1				○	○									
学士卒の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ		倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○	—		—	—	—	授業内提出物	80
当該科目のキーワード	《知識・理解》		栄養アセスメント、栄養管理の基本									実習での成果を解説する。提出物は採点して返却する。					
	《汎用的技能》		ライフステージに応じた献立の検討									アクティブラーニングの有無(内容)		有			
	《態度・志向性》		共同作業の重要性									グループディスカッション、グループワーク					
授業概要	栄養管理は、健康の維持・増進から疾病の予防と治療のみならず、疾病の重症化予防、さらには介護予防という広い範囲で重要である。栄養管理の基本的考え方を理解したうえで、妊娠や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態の評価と適切な対応に必要な基本的技能を修得する。											グループディスカッション、グループワーク					
授業の到達目標	1) 栄養状態や心身機能に応じた栄養管理の基本的な考え方を修得する 2) 各ライフステージにおける栄養状態や心身機能の特徴に基づいた栄養管理について理解を深める 3) 健やかに生きるための栄養学を修得し、健康寿命と食生活の関連性を学ぶ																
単位認定の要件	レポート、実習態度などの総合評価が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	オリエンテーション: 授業概要: 実習の目的他 DVD学習「離乳食」 予習:(45分) 本科目のシラバス及び教科書の第1章栄養マネジメントを読んでおく。前期の世代別栄養学を復習する。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。レポート課題を作成する。															
	2	乳児期・幼児期の栄養マネジメント 実習「調乳法」/ 演習「献立計画: 離乳食」 予習:(45分) 教科書の第2章ライフステージと栄養 B 乳児期栄養を読み、乳児期の特性や栄養上の特徴について調べる。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。実習レポート、演習課題を作成する。															
	3	乳児期の栄養マネジメント 実習「離乳食」 予習:(45分) 実習の流れを確認する。課題発表の準備をする。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。実習レポートを作成する。															
	4	幼児期の栄養マネジメント 演習「献立計画: 保育園給食、食育指導案」 予習:(45分) 教科書の第2章ライフステージと栄養 C 幼児期栄養を読み、幼児期の栄養アセスメント、食育について調べる。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。演習課題を作成する。															
	5	幼児期の栄養マネジメント 実習「幼児(保育所給食)、食育指導」 予習:(45分) 実習の流れを確認する。課題発表の準備をする。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。実習レポートを作成する。															
	6	思春期・妊娠期の栄養マネジメント 栄養アセスメントと栄養ケア計画 予習:(45分) 教科書の第2章ライフステージと栄養 A 母性栄養 D 学童期栄養及び思春期栄養を読み、各時期の特性や栄養上の特徴について調べる。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。献立・演習課題を作成する。															
	7	妊娠期・高齢期の栄養マネジメント 実習「妊娠期の食事」/ 高齢期の栄養アセスメントと栄養ケア計画、献立の検討・計画 予習:(45分) 教科書の第2章ライフステージと栄養 H 高齢期栄養を読み、高齢期の生理的特徴や栄養上の特徴、栄養アセスメントについて調べる。 復習:(45分) 授業内容を整理し、重要点をまとめる。演習課題を作成する。															
	8	高齢期の栄養マネジメント 実習「高齢期の食事・嚥下障害食」 予習:(45分) 教科書の第2章ライフステージと栄養 H 高齢期の栄養を読み、摂食嚥下障害や、嚥下食について調べる。 復習:(45分) 実習内容を確認する。授業内容を整理し、重要点をまとめる。実習レポートを作成する。															
教科書・教材	特になし																
参考書・参考文献等	栄養学教科書イラストレイテッド応用栄養学改訂第3版(羊土社) 日本人の食事摂取基準(第一出版) 食品解説付ビジュアル食品成分表(大修館書店)																
履修上の注意等	各自で実習レポート(A4サイズ)に、実習内容を記録する。 実習はグループ単位で実施し、実習レポートは各人で提出する。																
実務経験との関連	実務経験の有無	有	長年の行政栄養士の経験を活かし、栄養管理の基本的考え方を理解したうえで、妊娠や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に伴う栄養状態の評価と適切な対応に必要な基本的技能を修得する科目である。														

[3331] 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科													
栄養教育論			講義	前田朝美	2年	後期	健康栄養学科													
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無									
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	90	有							
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート		無					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ		倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		無		
	〇	—	—	〇	—	〇	—	—	—	—	—		〇	〇	—	—	授業内提出物	10	有	
	〇	—	—	〇	—	〇	—	—	—	—	—		〇	〇	—	—	授業内活動		無	
											計	100								
											フィードバックの方法									
											〇	—	—	〇	〇	—	—	期末試験は採点后に返却し、解説する。		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		栄養教育マネジメント、行動科学理論								アクティブラーニングの有無(内容)			有						
	《汎用的技能》		カウンセリング、コーチング																	
	《態度・志向性》		管理栄養士の資質、役割																	
授業概要	多様化している学習者(個人及び集団)に対して、効果的な栄養教育を実施するための知識と技術の基礎として、食行動変容のための行動科学の理論モデルやカウンセリングやコーチングの基本、栄養教育のマネジメントの一連の流れ(アセスメント、計画、実施、評価)を解説する。また、事例をもとに、学習者に応じた栄養教育を計画するプロセスを演習する。										グループディスカッション、問題解決学習									
授業の到達目標	①栄養教育マネジメントについて理解できる。 ②行動科学の主な理論・モデルを理解できる。 ③カウンセリングやコーチングの基本的な考え方や手法を理解できる。 ④食環境づくりについて理解できる。																			
単位認定の要件	到達目標の①～④の合計が60点以上																			
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																		
	1	栄養教育の概念(目的、目標、対象、機会等) 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。																		
	2	栄養教育における行動科学の必要性 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	3	食行動の特性とアセスメント 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	4	行動科学技法 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	5	行動変容に関する理論とモデル 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	6	栄養カウンセリング 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	7	組織・地域づくりへの展開 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	8	食環境づくりと栄養教育 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	9	栄養教育マネジメント 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	10	栄養教育におけるアセスメントの種類と方法 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	11	栄養教育の計画と実施(1)学習形態の種類と方法、教材について 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	12	栄養教育の計画と実施(2)目標設定 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	13	栄養教育の計画と実施(3)栄養教育案の作成 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
	14	栄養教育の評価 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																		
15	栄養教育の実践例紹介 予習:(90分)教科書を事前に読む。 復習:(90分)講義内容を配布資料と教科書で確認する。演習を完成させる。																			
教科書・教材	永井成美・赤松利恵編集「visual栄養学テキスト 栄養教育論第2版」(中山書店)																			
参考書・参考文献等	特になし																			
履修上の注意等	「栄養教育論」で学習した理論について、3年次の「栄養教育論実習」で演習を行います。学習内容をしっかり記録して、実習に備えましょう。																			
実務経験との関連	実務経験の有無	無																		

[3335] 専門教育科目 専門分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
臨床栄養学			講義	江畑年巳	2年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無								
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	100	有					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末レポート						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト				
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》																	
	○	—	○	—	○	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	計	100
当該科目のキーワード	《知識・理解》		栄養補給法、栄養管理									期末試験および授業内試験は採点結果を開示する。						
	《汎用的技能》		栄養ケアプロセス									アクティブラーニングの有無(内容)			有			
	《態度・志向性》		チーム医療															
授業概要	栄養面から疾病予防と治療に貢献することを目標に、臨床栄養管理の意義を学習する。病気と栄養の関係を明らかにし、傷病者の病態や栄養状態の特性に基づいた有益な栄養管理を行うために、栄養ケアプランの立案、実施、評価に関する臨床栄養マネジメントの考え方を修得する。医療人として社会に貢献するために必要な構築、チーム医療の一員としての管理栄養士の位置付けと役割について理解する。											グループディスカッション						
授業の到達目標	①臨床栄養管理の意義を知る ②栄養補給法の種類と特徴を理解する ③栄養アセスメントの指標と手順を理解する ④チーム医療における管理栄養士の役割を知る																	
単位認定の要件	期末試験が60点以上であること。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	臨床栄養学の意義/病院における管理栄養士の役割 予習:(90分) P2~7までを熟読する。 復習:(90分) 病院における管理栄養士の役割についてノートにまとめる。																
	2	診療報酬制度とチーム医療 予習:(90分) P7~27までを熟読する。 復習:(90分) 診療報酬制度とチーム医療についてノートにまとめる。																
	3	栄養ケアプロセスの理論と手法 予習:(90分) P30~33までを熟読する。 復習:(90分) 栄養ケアプロセスの理論と手法についてノートにまとめる。																
	4	栄養スクリーニング、栄養アセスメント指標の種類と特性 予習:(90分) P34~53までを熟読する。 復習:(90分) 栄養スクリーニング、栄養アセスメント指標の種類と特性についてノートにまとめる。																
	5	臨床診査項目の種類と特性 予習:(90分) P53~55までを熟読する。 復習:(90分) 臨床診査項目の種類と特性についてノートにまとめる。																
	6	身体計測・体組成評価の意義と特徴 予習:(90分) P41~45までを熟読する。 復習:(90分) 身体計測・体組成評価の意義と特徴についてノートにまとめる。																
	7	臨床検査・食事調査の種類と特性 予習:(90分) P53~57までを熟読する。 復習:(90分) 臨床検査・食事調査の種類と特性についてノートにまとめる。																
	8	栄養ケアプロセスと栄養診断(PES報告/栄養管理計画書) 予習:(90分) P57~63までを熟読する。 復習:(90分) 栄養診断(PES報告、栄養管理計画書)についてノートにまとめる。																
	9	栄養補給法の種類と選択 予習:(90分) P63~70までを熟読する。 復習:(90分) 栄養補給法の種類と選択についてノートにまとめる。																
	10	経口栄養法/からだのリズムと口から食べる大切さ 予習:(90分) P72~76までを熟読する。 復習:(90分) 経口栄養法 入院食、食事管理法についてノートにまとめる。																
	11	経腸栄養法の適応と投与ルート 予習:(90分) P76~78までを熟読する。 復習:(90分) 経腸栄養法の適応と投与ルートについてノートにまとめる。																
	12	濃厚流動食・経腸栄養剤の種類と特性 予習:(90分) P78~82までを熟読する。 復習:(90分) 濃厚流動食・経腸栄養剤の種類と特性についてノートにまとめる。																
	13	経腸栄養法の合併症とその対策 予習:(90分) P82~83までを熟読する。 復習:(90分) 経腸栄養法の合併症とその対策についてノートにまとめる。																
	14	輸液の種類と選択、静脈栄養法の手技と合併症 予習:(90分) P83~P86輸液の種類と選択、輸液の種類を表を熟読する。 復習:(90分) 輸液の種類と選択、静脈栄養法の手技と合併症についてノートにまとめる。																
15	糖尿病食、腎臓病食の栄養管理 予習:(90分) P130~137, P226~246までを熟読する。 復習:(90分) 糖尿病食、腎臓病食の栄養管理についてノートにまとめる。																	
教科書・教材	栄養科学シリーズNEXT「新・臨床栄養学」講談社 (ISBN978-4-06-530112-8)																	
参考書・参考文献等	参考文献は授業内で適宜紹介する。																	
履修上の注意等	基礎科目(基礎栄養学、栄養生化学など)と関連させて予習・復習を行うこと。国家試験への合格は最低ラインである。より高度かつ最新の情報を収集し探究する意欲を求める。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	有	長年にわたり診療所と高齢者施設(介護老人保健施設)の管理栄養士としての給食管理・栄養管理業務の経験を生かし、栄養面から疾病予防と治療に貢献することを目標とし、臨床栄養管理の意義、栄養補給法、栄養ケアプロセス、チーム医療等、実践に必要な基礎的知識を学ぶ科目である。															

[3342] 専門教育科目 専門分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科									
公衆栄養学			講義		小沼奈緒美		2年	前期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
			必修	選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・調理師	期末試験	80	無				
2	15	30	2			○	○											
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	20	無
	○	○	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—
当該科目のキーワード	《知識・理解》		公衆栄養活動、栄養政策									期末試験は採点結果を開示する。授業内小テストは授業内に解説する。						
	《汎用的技能》		公衆栄養マネジメント、栄養疫学															
	《態度・志向性》											アクティブラーニングの有無(内容)	有					
授業概要	地域、国、および国際社会の観点から、公衆栄養活動の歴史や健康・栄養問題の変遷について概説する。それらの課題解決に向けた公衆栄養プログラムを展開するための知識を提示し、行政栄養士が健康づくりや栄養・食生活の改善に取り組む際の基本的な考え方と具体的な手法について指導する。											グループディスカッション、グループワーク						
授業の到達目標	①公衆栄養学の概念や公衆栄養活動の目的を理解する。 ②健康・栄養問題の現状と課題を理解する。 ③関係法規と栄養政策の流れを理解する。 ④食事摂取基準の概念と栄養疫学の役割について理解する。																	
単位認定の要件	期末試験等の合計が60点以上であること。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	オリエンテーション、公衆栄養の概念 予習:(90分) 本科目のシラバスを熟読しておく。公衆栄養活動の歴史該当部分読み、身近な公衆栄養活動を考えておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	2	行政栄養士の活動の実態 予習:(90分) 事前に配布した資料を基に、公衆栄養における行政栄養士の役割について調べておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	3	公衆栄養活動 予習:(90分) 教科書の該当部分を読み、WHOの提唱するヘルスプロモーションについてまとめる。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	4	健康・栄養問題の現状と課題(1) 社会環境と健康・栄養問題 予習:(90分) 事前に配布した資料を基に、青森県の平均寿命・健康寿命、その他健康と食に関する指標をインターネット等で調べておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	5	健康・栄養問題の現状と課題(2) 食事の変化・食生活の変化・食環境の変化 予習:(90分) 教科書の該当部分を読み、わが国のエネルギー・栄養素摂取状況の推移について調べておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	6	健康・栄養問題の現状と課題(3) 諸外国の健康・栄養問題と課題 / 諸外国の健康・栄養政策 予習:(90分) 教科書の該当部分を読み、世界の三大微量栄養素欠乏症、栄養障害の二重苦、それに対する対応策について調べる。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	7	栄養政策(1) 公衆栄養活動と関係法規(健康増進法・地域保健法・食育基本法等) 予習:(90分) 教科書の該当部分を読み、公衆栄養活動の根拠となる法律とその目的について調べる。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	8	小テスト/栄養政策(2) 管理栄養士・栄養士制度 / 国民健康・栄養調査 予習:(90分) 教科書の該当部分を読み、管理栄養士・栄養士の役割について整理する。最新の国民健康・栄養調査についてネット検索しておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	9	栄養政策(3) 公衆栄養活動実施に関する指針・ツール / 国の健康増進基本方針と地方計画(健康日本21) 予習:(90分) 教科書の該当部分を読み、最新の健康日本21の概要についてネット等で調べておく。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	10	栄養疫学(1) 栄養疫学の概要、暴露情報としての食事摂取量、食事摂取量の測定方法 予習:(90分) 教科書の該当部分を読み、各食事調査法の長所・短所について整理してみる。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	11	公衆栄養マネジメント(1) 公衆栄養マネジメント、公衆栄養アセスメント 予習:(90分) 教科書の該当部分を読み、PDCAサイクルの各段階について、その概要を整理してみる。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	12	公衆栄養マネジメント(2) 公衆栄養プログラムの目標設定、計画、実施、評価 予習:(90分) 教科書の該当部分を読み、公衆栄養活動に関連する主な既存資料から、資料の目的や内容・管轄の省庁等を抜き出して整理してみる。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	13	公衆栄養プログラムの展開(1) 地域特性に対応したプログラムの展開・地域集団の特性別プログラムの展開 予習:(90分) 教科書の該当部分を読み、身近な地域の栄養プログラムの実例とその目的を整理してみる。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
	14	公衆栄養プログラムの展開(2) 食環境づくりのための栄養プログラムの展開 予習:(90分) 教科書の該当部分を読み、身近な食環境づくりの栄養プログラムの実例とその目的を整理してみる。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、小テストに備える。																
15	まとめ、小テスト 予習:(90分) 今まで整理した授業の重要点を確認する。 復習:(90分) 授業内容を整理し、重要点をまとめ、期末試験に備える。																	
教科書・教材	改訂版「カレント公衆栄養学」建邦社 由田克士・荒井祐介																	
参考書・参考文献等	参考資料として「日本人の食事摂取基準(2025年版)」を使用する。																	
履修上の注意等	期末試験は公衆栄養学の基礎的理解について問います。必ず復習をして、知識の定着を行ってください。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	有	長年の行政栄養士の経験を活かし、公衆栄養活動の歴史や健康・栄養問題の変遷について理解し、課題解決に向けた公衆栄養プログラムを展開するための基本的な考え方と方法について学修する科目である。															

[3345] 専門教育科目 専門分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科								
給食経営管理論			講義		花田玲子		2年	前期	健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無					
			必修		選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員						
2	15	30	2			○	○						期末試験	86	有		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート		
	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	計													100			
フィードバックの方法																	
当該科目のキーワード													授業内小テスト、期末テストの解説を行う。				
《知識・理解》 給食の栄養・食事管理																	
《汎用的技能》 数量的スキル																	
《態度・志向性》 給食の経営管理													アクティブラーニングの有無(内容)		無		
授業概要													給食の目的は、利用者に対して栄養的に考慮された適切な食事を供給することである。利用者の健康保持増進、心身の健全および疾病の予防・治療などを図るとともに、利用者を通して家庭や地域の正しい食習慣の確立に役立たせるものである。給食運営と食材の確保から、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力を養うことを目的とし、マーケティングの原理や応用について理解するとともに、組織管理などマネジメントの基本的な考え方や方法を解説する。				
授業の到達目標													給食経営管理業務の基本となる専門知識を修得するために ①利用者の栄養・食事管理を理解できる。 ②給食の経営管理と組織を理解できる。 ③安全・衛生管理について理解できる。 ④給食経営管理に必要な数量的スキルを獲得する。 給食管理には、コミュニケーションによる良好な人間関係を築くことが重要であることを理解する				
単位認定の要件													到達目標の①～④の合計が60点以上。				
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)													回 内 容				
1													給食の概念 1) 給食の概要 2) 給食システム 3) 給食を提供する施設と関連法規 予習:(90分) 教科書p11～30を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
2													給食の経営管理 1) 栄養食事管理の概要 2) 経営管理の概要 3) マーケティング 予習:(90分) 教科書p31～52を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
3													給食経営管理と組織 1) 組織構築と形態 2) 給食組織と関連分野の連携 3) リーダーシップ 予習:(90分) 教科書p52～65を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
4													栄養・食事管理① 1) 栄養食事管理の概要 2) 栄養アセスメント 3) 栄養・食事計画 予習:(90分) 教科書p66～86を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
5													栄養・食事管理② 1) 献立計画 2) 栄養・食事計画の評価、改善 予習:(90分) 教科書p86～96を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
6													食材管理 1) 食材の購入 2) 食材の発注 3) 食材の保管管理 予習:(90分) 教科書p106～117を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
7													生産管理① 1) 生産計画 2) 大量調理の方法と技術 3) 大量調理の調理特性 予習:(90分) 教科書p117～127を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
8													生産管理② 1) 提供管理 2) 下膳、洗浄・清掃作業管理 3) 塵芥・ごみ処理 4) 生産管理の評価 予習:(90分) 教科書p127～133を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
9													衛生管理 1) 食の安全性 2) HACCP 3) 衛生・安全管理 予習:(90分) 教科書p134～159を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
10													品質管理 1) 品質管理 2) 品質保証と標準化 予習:(90分) 教科書p97～105を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
11													施設・設備管理 1) 施設・設備の基準と関係法規 2) 食事環境の設計と設備 予習:(90分) 教科書p168～188を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
12													原価管理 1) 給食の原価 2) 給食の原価管理 予習:(90分) 教科書p200～213を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
13													給食の事務・人事管理 事務 1) 情報事務管理 人事 1) 給食従事者の雇用形態 2) 給食従事者の教育・訓練 3) 給食従事者の業績と評価 予習:(90分) 教科書p199～199を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
14													事故・災害時対策 1) 事故対策 2) 災害対策 予習:(90分) 教科書p159～167を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。				
15													まとめ 予習:(90分) 授業プリントNo.1～14を読み返す。 復習:(90分) 1～14回の給食の流れを復習する。				
教科書・教材													新実践 給食経営管理論 藤原 政嘉他(株)みらい				
参考書・参考文献等													西川貴子、深津智恵美ら Plan-Do-Check-Actにそった 給食運営・経営管理実習のてびき 第6版(医歯薬出版株式会社)、メニューコーディネートのための食材別料理集第三版(同文書院)、NEXT 献立作成の基本と実践(講談社サイエンティフィク)				
履修上の注意等													本試験に関連する問題が、小テストにも出題されます。				
実務経験との関連													実務経験の有無		無		

[3346] 専門教育科目 専門分野			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科							
給食経営実践論			講義		花田玲子		2年	後期	健康栄養学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無				
			必修	選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者					
2	15	30	2			○	○									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート	83	有
	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内小テスト	7	有	
	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	授業内提出物	10	有	
												授業内活動				
												その他				
												計	100			
												フィードバックの方法				
												○	—	○		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		栄養・食事計画作成									授業内小テスト、授業内提出物、期末テストの解説を行う。				
	《汎用的技能》		マネジメントの数量的スキル													
	《態度・志向性》		社会的使命									アクティブラーニングの有無 (内容)	無			
授業概要	特定給食施設における給食運営の意義や目的、給食対象者の食事アセスメント、給食の計画、実施、評価について解説する。他職種との協働から栄養面、安全面、経営面をマネジメントし、対象者の健康をサポートする方法を解説する。食品の流通・開発、価格設定、利用者のニーズ把握等のマーケティング理論と旬や地産地消の活用方法を解説する。															
授業の到達目標	給食経営管理業務の総合的能力を修得するために ①各種給食施設の給食運営を知り給食経営管理の実際を理解できる。 ②給食対象者の栄養・食事計画が作成できる。 ③マネジメントに必要な数量的スキルを修得する。 ④関連の資源(食品流通、給食に関わる組織や経費など)の総合的な判断力、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメント能力を修得する。															
単位認定の要件	到達目標の①～④の合計が60点以上。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	病院給食 1)病院給食の概要 2)入院時食事療養制度 3)栄養管理と栄養法 4)食事基準 予習:(90分)教科書p214～224を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。														
	2	高齢者・介護福祉施設の給食 1)高齢者・介護福祉施設 2)介護保険制度 3)高齢者の栄養管理 予習:(90分)教科書p224～232を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。														
	3	児童福祉施設の給食、事業所の給食 1)児童福祉施設 2)事業所、自衛隊 予習:(90分)教科書p232～237、255～258を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。														
	4	福祉施設の給食 1)障害者福祉施設 2)栄養管理体制加算 予習:(90分)教科書p237～243を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。														
	5	学校給食 1)学校給食の意義と概要 2)給食の実施形態 3)食事内容、食に関する指導 予習:(90分)教科書p243～254を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。														
	6	給食における栄養管理の実際① 1)アセスメント、栄養・食事計画 2)給与目標量の算出 予習:(90分)日本人の食事摂取基準2020年版 p51～272を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。														
	7	給食における栄養管理の実際② 1)食品群別加重平均成分表の算出 予習:(90分)実習のてびきp8～14を読む。 復習:(90分) 課題「食品群別加重平均成分表」を作成する。														
	8	給食における栄養管理の実際③ 1)食品構成表作成 2)献立作成の留意点 3)栄養教育教材 予習:(90分)実習のてびきp15～32を読む。 復習:(90分) 課題「食品構成表」「献立計画表」を作成する。														
	9	給食における栄養管理の実際④ 1)食品流通 食材の購入方法 2)在庫管理と発注 予習:(90分)実習のてびきp45～50を読む。 復習:(90分) 課題「食品日計表」「発注書」を作成する。														
	10	給食品質管理の実際 1)栄養・食事管理と総合品質 2)栄養出納表の算出 3)品質改善とPDCAサイクル 予習:(90分)教科書p92～94を読む。 復習:(90分) 課題「栄養出納表」を作成する。														
	11	原価管理の実際 1)原価計算 2)ABC分析 予習:(90分)実習のてびきp145～148を読む。 復習:(90分) 課題「ABC分析表」を作成する。														
	12	原価管理の実際 1)給食における収入と原価・売上 2)損益分岐点作成 予習:(90分)実習のてびきp149～152を読む。 復習:(90分) 課題「損益分岐点」を作成する。														
	13	衛生管理の実際 1)大量調理施設衛生管理マニュアル 2)衛生管理の実際の流れ 予習:(90分)教科書p266～274を読む。 復習:(90分) 次回小テストの勉強をする。														
	14	給食の生産管理の実際 1)生産ラインと作業動線 2)施設・設備のレイアウト 3)新調理システム 4)労働生産性 5)作業工程の分析、工程表の作成 予習:(90分)実習のてびきp41～44を読む。 復習:(90分) 課題「作業工程表」を仕上げる。														
15	給食経営管理における調査 1)残菜、嗜好調査 2)アンケートのまとめ方 予習:(90分)実習のてびきp128～134を読む。 復習:(90分) 課題「嗜好調査アンケート」を作成する。															
教科書・教材	新実践 給食経営管理論 藤原 政高他(株)みらい Plan-Do-Check-Actにそった 給食運営・経営管理実習のてびき 西川貴子、深津智恵美ら 医歯薬出版株式会社															
参考書・参考文献等	NEXT献立作成の基本と実践(講談社サイエンティフィック)															
履修上の注意等	本試験に関連する問題が、小テスト、課題にも出されます。欠席した回の課題も提出が必要です。															
実務経験との関連	実務経験の有無	無														

[3404] 専門教育科目 選択科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科								
食の心理学			講義		新田史暁		2年	前期	健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無					
			必修	選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者						
2	15	30		2		□											
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然			≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力						《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		
			○	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	—	○	—	
			○	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	—	○	—	
			○	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	—	○	—	
当該科目のキーワード			≪知識・理解≫ 食に関する心理学的知見の理解	≪汎用的技能≫ 心理学の研究手法	≪態度・志向性≫ 学習への動機づけ							第15回目の講義で試験を実施し、講義内でその解説を行う。コメントペーパーは講義内においてフィードバックする。					
授業概要			食行動を心理学的観点から捉え、食行動の発達、食物好嫌の仕組み、食行動の認知的要因、食行動の社会的要因、食行動異常の各領域について概観する。食に関する人間行動の心理について学ぶことで、栄養士や栄養教諭を目指す学生の食行動についての理解を広げることが目的とする。									グループディスカッション					
授業の到達目標			①発達に伴う食行動の意味や食行動の変化について説明できる ②食物嫌悪の学習過程を説明できる ③味覚と視覚、嗅覚との関連について説明できる ④食行動と関連する社会的要因と食行動異常について説明できる														
単位認定の要件			到達目標①～④の合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容													
			1	食と心理学の関係 予習:(90分) 食と心理学はどのように関係しているか自分で調べる。 復習:(90分) 心理学とはなにか、心理学のはじまり、食行動との関連について理解を深める。													
			2	食べることの生物学的・生理的基礎 予習:(90分) 摂食調節を司る脳機能について調べる。 復習:(90分) 生命活動とエネルギーの関係、摂食調節を司る脳機能、おいしさの評価にかかわる心理学的要因について理解を深める。													
			3	視覚と食行動 予習:(90分) 視覚は食行動とどのように関係しているのか、視覚の仕組みについて調べる。 復習:(90分) 食行動と関連する視覚現象(同化・対比・補色)と味覚嗅覚への影響について理解を深める。													
			4	嗅覚と食行動 予習:(90分) 嗅覚は食行動とどのように関係しているのか、調べる。 復習:(90分) 味を判断する2種類の香り、知覚の相互作用、においの情報処理について理解を深める。													
			5	咀嚼と食行動 予習:(90分) 咀嚼は心にとどのような影響を及ぼすのか、調べる。 復習:(90分) 咀嚼が身体や心に与える影響にはどのようなものがあるか理解を深める。													
			6	食物の好き嫌い①生物学的基礎 予習:(90分) 雑食性動物のジレンマとはなにか調べる。 復習:(90分) 雑食性動物のジレンマ、食物新奇性恐怖による食事への影響と対応方法について理解を深める。													
			7	食物の好き嫌い②学習 予習:(90分) 古典的条件づけ、オペラント条件づけとはなにか調べる。 復習:(90分) 味覚嫌悪条件づけ、学習理論を活かした好き嫌いの改善方法について理解を深める。													
			8	心身の発達と食行動 予習:(90分) 乳児から児童までの発達特徴について調べる。 復習:(90分) 乳児・幼児・児童の発達と食行動の特徴について理解を深める。													
			9	食を通じたコミュニケーション①愛着形成 予習:(90分) 愛着とはなにか、どのように形成されるかを調べる。 復習:(90分) 愛着形成における食事の役割、愛着形成が十分でないどのような問題が生じるか、理解を深める。													
			10	食を通じたコミュニケーション②孤食・欠食 予習:(90分) 孤食・欠食とはなにか、孤食・欠食の現状と課題について調べる。 復習:(90分) 孤食・欠食が子どもと高齢者の心理的側面に及ぼす影響について理解を深める。													
			11	食行動と他者の存在 予習:(90分) 社会的促進と社会的抑制とはなにか調べる。 復習:(90分) 食行動による話合いへの影響、食行動による自己呈示、ランチメイト症候群について理解を深める。													
			12	食物への期待・選択・購入 予習:(90分) ハロー効果、アンカリング効果とはなにか調べる。 復習:(90分) 購買行動の要因、風評被害の理解と対策について理解すること。風評被害の具体的なニュースを調べる。													
			13	食行動の障害 予習:(90分) 摂食障害とはなにか調べる。 復習:(90分) 摂食障害に関する現状、具体的な症状、理解と援助方法について理解を深める。													
			14	ストレスと食行動 予習:(90分) ストレスと食行動の関係について調べる。 復習:(90分) ストレスに気づく方法、ストレス発生の仕組みと対処、マインドフルイーティングについて理解を深める。													
15	授業内試験 予習:(90分) これまでの授業について振り返り学習する。 復習:(90分) 試験内容について振り返る。授業を受けたことで自身が学び成長した点と課題を考える。																
教科書・教材			特になし														
参考書・参考文献等			青山謙二郎・武藤崇(編)「心理学からみた食べる行動」(北大路書房) 今田純雄(編)「食べることの心理学」(有斐閣選書)														
履修上の注意等			配布資料は保管し、各回のコメントペーパーを提出すること。														
実務経験との関連			実務経験の有無	無													

[3421] 専門教育科目 選択科目			健康・食生活論	授業形態	講義	担当教員名	今村麻里子	開講年次	2年	開講時期	前期	開講学科	健康栄養学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生	監理員・調理師	期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》						期末レポート	30	有				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	20	有	
	○	○	—	○	—	○	—	—	—	○	○	—	—	—	授業内提出物	30	有	
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》												授業内活動	20	有			
												その他						
												計	100					
												フィードバックの方法						
当該科目のキーワード			《知識・理解》	食と健康のメカニズムの理解									レポート、提出物等は採点・返却し、授業内で解説する。					
			《汎用的技能》	食と健康の大切さを伝える力														
			《態度・志向性》	課程における食の課題、学校における教育課題に向き合う力									アクティブラーニングの有無(内容)	有				
授業概要			近年、栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向、食の安全性に対する危惧、食の海外への依存、伝統的食文化の喪失など、国民の「食」をめぐる現状が変化し、その影響が顕在化してきている。そこで、健康と食をめぐる日本の現状と課題を把握し、生活にわたるライフステージに応じた食育、生活習慣病の予防につながる食育などの推進に意図的に取り組み、実践できるような食生活を構成する諸要因を総合的にとらえ、心身の健康増進と豊かな人間関係を旨とした新たな食生活環境、食文化の創造について考える。										調査学習、グループディスカッション、グループワーク					
授業の到達目標			国民の健康増進を推し進めることが今日の重要な課題となっている。そのために ①個々に健全な食生活を形成していくことは幼少の頃から培われた習慣が大きく影響することを理解する。 ②食を取り巻く社会環境や食に係る文化・歴史を理解し、食育の必要性を考えることができる。 ③学校における食育の担い手である栄養教諭の役割を認識し、栄養教諭の資質として必要な人間力を培う。															
単位認定の要件			レポート課題、講義内活動等の取り組みを総合的に判断し、60%以上の習得とする															
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容														
			1	自らの食生活を振り返り、若い世代の食生活の課題を理解する 予習:90(分)自らの食生活を振り返り課題を見つける 復習:90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。														
			2	現代の食事と健康寿命延伸のための課題を理解する 予習:90(分)現代の食事について調べ、課題を洗い出しておく 復習:90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。														
			3	食嗜好の形成について、諸外国の食事と日本の食事を比較する 予習:90(分)日本及び諸外国の食嗜好について調べておく 復習:90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。														
			4	食習慣と健康について、学校で実施する食に関する指導に必要な子どもの実態を理解する 予習:90(分)食習慣と健康についての関連を調べておく 復習:90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。														
			5	食に関する指導・食育の伝え方について、食育指導案 予習:90(分)食育指導案(例)について調べる 復習:90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。														
			6	食育指導案の作成 予習:90(分)食育指導案を作成する 復習:90(分)作成した指導案を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理し手直しする。														
			7	食育指導案の発表 予習:90(分)食育指導案の手直し、発表準備 復習:90(分)作成した指導案を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理し手直しする。														
			8	学校給食を教材として活用し、これからの食育を理解する 予習:90(分)授業関係資料に目を通す。 復習:90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。														
			9	児童生徒の食生活と健康問題 予習:90(分)児童生徒の食生活について調査する 復習:90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。														
			10	栄養教諭の地域レベルでの取り組み 予習:90(分)栄養教諭の地域でのとりくみについて調査する 復習:90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。														
			11	学校給食の課題について調査する 予習:90(分)学校給食の課題について調べ、洗い出しておく 復習:90(分)講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、次回までに整理しておく。														
			12	学校給食の課題について調査し、パワーポイントを作成する 予習:90(分)発表資料の作成 復習:90(分)発表資料の見直し、不十分な内容については、次回までに手直ししておく。														
			13	学校給食の課題を発表する 予習:90(分)発表資料の作成、手直し、発表準備 復習:90(分)発表資料の見直し、不十分な内容については、次回までに手直ししておく。														
			14	学校給食の課題を発表し、自己評価する 予習:90(分)発表の準備を進める。 復習:90(分)発表を通して学んだことをまとめておく。														
			15	食生活の正しい健康情報を判断する能力について、まとめ 予習:90(分)正しい情報を見極めるために必要なことを調べる 復習:90(分)すべての講義内容を見直し、理解が不十分な内容については、整理しておく。														
教科書・教材			必要に応じ、適宜プリントを配布します 栄養教諭論 理論と実践でわかる食育(栄養教諭履修者のみ購入の上、準備のこと)															
参考書・参考文献等			「食育白書」内閣府 栄養科学シリーズ NEXT 食育・食生活論 栄養科学シリーズNEXT 応用栄養学															
履修上の注意等			食育と社会の関わりを深く理解し、健康長寿に努めること 新聞やインターネット記事にも関心を持ち、広く情報収集にあたること															
実務経験との関連			実務経験の有無	無														

[3431] 専門教育科目 選択科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科						
家庭経営学 I			講義		工藤寧子		2年	前期	健康栄養学科						
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無			
			必修	選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員				
2	15	30		2		□		○	○			期末試験			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート
	○	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	—	授業内小テスト 60 有
	○	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	—	授業内提出物 20 有
当該科目のキーワード	《知識・理解》		家庭経営に関する理解									期末試験			
	《汎用的技能》		家庭経営上の課題解決									授業内活動 20 有			
	《態度・志向性》		個々に合わせた生活設計能力									アクティブラーニングの有無(内容) 有			
授業概要	お金と生活の関係について理解し、家計のしくみ等お金の動きを学び、単身・共働き・ひとり親・高齢者世帯にわけて、世帯ごとの問題や課題の違いを解説し、ライフステージに応じて、社会や自分のためによりよい家庭経営をするため、知識の習得を促す。また、社会保障制度など社会の仕組みや身近におこっている消費者問題について具体的にとりあげ、課題を見出し解決できるように、家庭経営に必要な知識を習得させる。											グループディスカッション、グループワーク			
授業の到達目標	①労働、生活時間、社会保障に関する現状と課題について説明することができる。 ②ライフステージごとの課題を捉えることができる。 ③身近におこっている消費者問題の原因を探ることができる。														
単位認定の要件	到達目標の①～③の合計が60点以上。														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	授業の概要 予習:(0分) 復習:(180分) 授業目標の確認。自身の生活を振り返り課題を把握する。													
	2	家庭経営のあゆみ 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	3	家計の収入と支出 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	4	家計をめぐる法則、家計簿のつけ方 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 家計簿をつける。													
	5	ライフサイクルと貯蓄・負債 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	6	単身者の生活、共働き世帯と専業主婦世帯の生活 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	7	子どもにかかる費用 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	8	ひとり親世帯および高齢者世帯の現状と課題 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自分の意見をまとめる。課題レポートの作成。													
	9	生活時間と家庭経済 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	10	生活と社会保障 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	11	家計簿について発表 予習:(90分) 発表の準備をする。 復習:(90分) 他者の発表から学んだことをまとめる。													
	12	消費者問題 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自分の意見をまとめる。課題レポートの作成。													
	13	消費者教育 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。													
	14	家庭経営を考える[ゲスト講師:キャリア支援教育 キャリアセミナー] 予習:(90分) 授業目標を確認する。 復習:(90分) 授業内容を振り返り、自身の課題をまとめる。													
15	ライフプラン作成、まとめ 予習:(180分) これまでの授業内容を振り返る。 復習:(0分)														
教科書・教材	授業時に資料を配布する。														
参考書・参考文献等	大数千種『生活経済学』放送大学教育振興会 厚生労働省『厚生労働白書』														
履修上の注意等	・授業計画(順序)は変更される場合がある。 ・ミニ発表やグループワークも含む。														
実務経験との関連	実務経験の有無	無													

[3432] 専門教育科目 選択科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科									
家庭経営学Ⅱ			講義		工藤寧子		2年	後期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
2	15	30	必修		選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員	単位認定の方法とフィードバックの有無						
					2	□			○	○		期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末レポート					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	授業内小テスト	60	有
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○	—	—	○	○	—	授業内提出物	20	有
	○	—	—	○	—	—	○	○	○	○	—	—	○	○	—	授業内活動	20	有
当該科目のキーワード	《知識・理解》		家族や家庭生活の機能の理解									期末レポート						
	《汎用的技能》		家庭生活上の課題解決									授業内小テスト						
授業概要	《態度・志向性》		生活者視点での社会的役割									授業内提出物・活動は、授業内でコメントをする。						
												アクティブラーニングの有無(内容)		有				
授業の到達目標	①家族と家庭生活についての基礎的知識を習得する。 ②家族や家庭生活の変容について理解できる。 ③現代の生活課題をしっかりと捉え、問題意識を身につける。											グループワーク、グループディスカッション						
単位認定の要件	到達目標の①～③の合計が60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	授業の概要 予習:(0分) 復習:(180分) 授業目標の確認。自身の生活を振り返り課題を把握する。																
	2	家族とは何か、どう変化しているか 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。																
	3	家族の変容と家族の課題 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自分の意見をまとめる。課題レポートの作成。																
	4	自分の生活時間について 予習:(0分) 復習:(180分) 一週間の生活時間を記録する。																
	5	家族と家庭の機能 予習:(60分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(120分) 諸問題に対して自分の意見をまとめる。課題レポートの作成。																
	6	家族と法律 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自分の意見をまとめる。																
	7	家族と法律の課題 予習:(60分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(120分) 諸問題に対して自分の意見をまとめる。課題レポートの作成。																
	8	家族とジェンダー 予習:(60分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(120分) 諸問題に対して自分の意見をまとめる。																
	9	家族とジェンダーの課題 予習:(60分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(120分) 諸問題に対して自分の意見をまとめる。課題レポートの作成。																
	10	家事労働の特徴 予習:(60分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(120分) 諸問題に対して自分の意見をまとめる。課題レポートの作成。																
	11	社会的排除、地域コミュニティ 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自分の意見をまとめる。																
	12	生活時間について発表 予習:(90分) 発表の準備をする。 復習:(90分) 他者の発表から学んだことをまとめる。																
	13	生活時間とアンパイドワーク 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自分の意見をまとめる。																
	14	働き方と家庭生活 [ゲスト講師: キャリアとライフイベントについて] 予習:(90分) 授業目標を確認する。 復習:(90分) 生活を振り返り、自分の課題をまとめる。																
15	生活設計、小テスト 予習:(180分) これまでの授業内容を振り返る。 復習:(0分)																	
教科書・教材	プリントを配布する。																	
参考書・参考文献等	宮本みち子・岩本真珠『リスク社会のライフデザイン』放送大学教育振興会 伊藤純『エンターで学ぶ生活経営論第2版—現代の福祉社会を主体的に生きるために』ミネルヴァ書房																	
履修上の注意等	・授業計画(順序)は変更される場合がある。 ・家庭生活に関心をもち、自分の意見を述べられるようにする。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																

[3442] 専門教育科目 選択科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
被服立体構成実習			実習	工藤寧子	2年	前期	健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無							
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員	期末試験								
			1			□			○	○	期末レポート								
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			《知識・理解》			《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》							
			基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力				チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
			○	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—	○	○	計 100		
			フィードバックの方法									授業内提出物は、コメントを付けて返却する。授業内活動は、その場でコメントをする。							
当該科目のキーワード			《知識・理解》			被服製作の理論と基礎的技術						アクティブラーニングの有無(内容)			有				
			《汎用的技能》			計画を立て実行する力													
			《態度・志向性》			各部位に適した縫い方を選択する能力													
授業概要			被服製作のための理論と基礎的技術、道具の使い方を身に付け、家庭科被服領域において必要な知識・技能の習得を促す。また、アパレルCADシステムを使用しパターン設計した型紙を用いて、ハーフパンツ製作の実習を行う。製作することで、日常着の構造を理解し、さらに体型に合った衣服の着心地や好みのデザインを作ることで、手作りの良さを体験させる。										実習						
授業の到達目標			1.被服製作のための理論や基礎的な縫製技術を理解できる 2.学んだことを家庭科の被服領域において実践できる 3.作る喜びや関心がもてる																
単位認定の要件			到達目標の合計が60点以上。																
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容															
			1	授業の概要、立体構成と平面構成の違い、裁断法の種類、用具の説明、縫い方標本の作製 予習:(0分) 復習:(90分)基礎縫いの復習と指導上の留意点をまとめる															
			2	ミシンの取扱い方とミシン縫い 予習:(45分)ミシンの使い方を確認 復習:(45分)ミシン縫いの復習と指導上の留意点をまとめる															
			3	ミシン縫いの確認、縫い代の始末の標本作成 予習:(45分)縫い代の始末の方法を確認 復習:(45分)縫い代の始末の方法を振り返り、指導上の留意点をまとめる															
			4	小物の製作 予習:(45分)製作手順を確認 復習:(45分)製作手順の振り返り、指導上の留意点をまとめる															
			5	パンツの製作①(裁断、しるしつけ) 予習:(45分)製作手順を確認 復習:(45分)製作手順の振り返り、指導上の留意点をまとめる															
			6	パンツの製作②(縫い代の始末、脇縫い、股下、股上縫い) 予習:(45分)製作手順を確認 復習:(45分)製作手順の振り返り、指導上の留意点をまとめる															
			7	パンツの製作③(すその始末、ウエスト縫い、ゴム通し、仕上げ)、自由作品の作成(デザイン考案) 予習:(45分)製作手順を確認 復習:(45分)製作手順の振り返り、指導上の留意点をまとめる															
			8	自由作品の製作(縫製)、作品発表 予習:(15分)製作手順を確認 復習:(30分)製作手順の振り返り、指導上の留意点をまとめる															
教科書・教材			「被服構成」建帛社、配布プリントを使用する。																
参考書・参考文献等			中・高等学校教科書、中・高等学校学習指導要領																
履修上の注意等			・進捗状況により授業計画(順序)は変更される場合がある。 ・材料費は実費負担となる。裁縫道具を使用するので持参すること。アパレルCAD実習を履修していること。																
実務経験との関連			実務経験の有無	無															

【3443】 専門教育科目 選択科目			授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科								
被服平面構成実習			実習		葛西美樹		2年	前期	健康栄養学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無					
1	8	30	必修		選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員					
					1					○	○						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観				社会的責任	生涯学習力
	○	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—	—				—	—
	期末試験		期末レポート		授業内小テスト	20	有	授業内提出物	60	有	授業内活動	20				有	その他
		計		100		フィードバックの方法											
当該科目のキーワード			《知識・理解》		基礎縫い技術の習得、伝統文化の継承					期末試験終了後に解説を行う。授業内提出物・活動はコメントを記し返却する。							
			《汎用的技能》							アクティブラーニングの有無(内容) 有							
			《態度・志向性》		計画性、段取り力												
授業概要			大裁女物単衣長着(ミニチュア浴衣)の製作を通して、日本の民族衣装である和服に関心を持ち、伝統文化の継承をする意義や平面構成の基本と形態、立体構成(洋服)との違いを説明する。技能の面では、手縫いの基礎的技術、柄を活かした裁断、浴衣の着装方法などの実習を行なう。									グループディスカッション					
授業の到達目標			① 基本の縫い方を習得する。 ② 被服の構成の基本である立体構成と平面構成の違いを理解できる。 ③ 各部の名称や和服の裁断方法を理解できる。 ④ 家庭科の見方・考え方にもとづく「生活文化の継承」を理解できる。														
単位認定の要件			到達目標①～④がそれぞれ60点以上。														
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容													
			1	ガイダンス、基礎縫い 予習:(0分) 復習:(90分) 基礎縫い標本を完成する。													
			2	ミニチュア浴衣の製作 ①裁断としりし付け、背縫い 予習:(70分) アパレルCADを用いて浴衣の型紙を作成する。 復習:(20分) 手縫いの基礎技能を習得する。													
			3	ミニチュア浴衣の製作 ②衿付け、袖縫い 予習:(10分) 手縫いの基礎技能の定着度を確認する。 復習:(80分) 指示書とおりに行っているか確認をし、課題を完結する。手縫いの基礎技能を習得する。													
			4	ミニチュア浴衣の製作 ③脇縫い、袖付け 予習:(10分) 手縫いの基礎技能の定着度を確認する。 復習:(80分) 実習課題を完結する。													
			5	ミニチュア浴衣の製作 ④衿付け 予習:(10分) 手縫いの基礎技能の定着度を確認する。 復習:(80分) 実習課題を完結する。													
			6	ミニチュア浴衣の製作 ⑤衿付け始末、裾付け 予習:(10分) 手縫いの基礎技能の定着度を確認する。 復習:(80分) 実習課題を完結し、記録シートを完成する。													
			7	浴衣の着装方法とたたみ方 予習:(30分) プリントや動画をを用い、着装方法について知る。 復習:(60分) 着装後の浴衣の適切な管理方法について考える。													
			8	男女の浴衣の構造上の違い・平面構成と立体構成の違い 予習:(45分) 学習事項について書籍や文献を参考に調べる。 復習:(0分)													
教科書・教材			『大学課程被服構成』今松、大島、才田、保刈共著(建帛社)、教科書の他にプリントを配付する。														
参考書・参考文献等			中学校家庭分野教科書、高等学校家庭基礎教科書														
履修上の注意等			ミシン縫いと手縫いを併用して製作するため、被服立体構成実習で学習した技能が基礎となる。														
実務経験との関連			実務経験の有無	無													

【3445】 専門教育科目 選択科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
被服学実験			実験	葛西美樹	2年	後期	健康栄養学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無	
1	8	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生監視員・管理員		
			1					○	○			
学力力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダースhip 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	
	○		○			○					○	
	-		○			-					○	
	○		○			○					○	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 被服の基礎的知識の理解		実験レポートについてコメントする。									
	≪汎用的技能≫ 被服の客観的評価											
	≪態度・志向性≫ 環境に応じた適切な被服の選択		アクティブラーニングの有無(内容)		有							
授業概要	中学校・高等学校家庭科衣生活分野の学習内容を中心に、繊維や布の性能、染色、管理に関する実験を行い、衣服素材の基礎的知識と実験方法を説明する。										グループディスカッション	
授業の到達目標	①衣服素材の特徴や性能を理解する。 ②適切な衣服の選択と管理の方法を習得する。 ③実験により得られた結果を科学的に捉え、中学校・高等学校家庭科衣生活分野の学習内容に活かすことができる。											
単位認定の要件	実験レポート(60%)、授業内活動(40%)の合計が60点以上。											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	ガイダンス(実験の概要・レポートの書き方・実験室の使用方法など) 予習:(0分) 復習:(45分) 実験書を読み、レポート作成のための準備をする										
	2	繊維の鑑別(断面・側面観察) 予習:(30分) 実験内容について、書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める										
	3	糸の構造・織物の構造・編物の構造 予習:(30分) 実験内容について書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める										
	4	布の性能 ①保温性 ②吸水性 予習:(30分) 保温性、吸水性について書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める										
	5	布の性能 ③ドレープ性、剛軟性 予習:(30分) 衣服のしわについて書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める										
	6	界面活性剤の性質、しみ抜き 予習:(30分) 実験内容について書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める										
	7	繊維の染色実験 予習:(30分) 実験内容について書籍や文献を参考に確認する 復習:(60分) 実験内容をまとめレポートを作成し、理解を深める										
	8	実験のまとめ・家庭科の授業における活用(発表・ディスカッション) 予習:(90分) 発表のための準備をする 復習:(0分)										
教科書・教材	実験方法等を記載した実験書を配付する。											
参考書・参考文献等	被服材料学・被服整理学・被服学に関する各書籍 中学校家庭分野教科書・高等学校家庭基礎教科書											
履修上の注意等	次回の実験内容を予習し、実験に臨むこと。											
実務経験との関連	実務経験の有無	無										

[3461] 専門教育科目 選択科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
保育学 I			演習	高橋正行	2年	後期	健康栄養学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無						
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ		倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	
	○	—	○	—	—	○	○	○	○	—		○	○	—	○	○
	計											100				
フィードバックの方法																
当該科目のキーワード	《知識・理解》		乳幼児の発育発達								提出物は評価した後に返却する。授業内活動については都度評価をし、賞賛、激励、助言を行う。					
	《汎用的技能》		発達に合った対応や支援をする実践力													
	《態度・志向性》		生涯にわたる乳幼児理解、育児支援								アクティブラーニングの有無(内容)	有				
授業概要	家庭科教諭として必要な保育分野に関する指導内容を体系的に学ぶ。保育学 I では保育の基礎理論と子どもの発達理解を中心に扱う。また将来家庭科教諭として生徒に保育実習を指導することを踏まえ、学生自身も幼児と触れ合う機会を設けるなど、実践的な授業を展開する。										実習、グループディスカッション、模擬授業					
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育を学ぶ価値を捉え、家庭科教育を通して生徒に指導する意義を理解する。 ・子どもの発達(乳幼児期)を、身体・認知・社会性・情緒の側面から説明できる。 ・子どもの思考、行動、特性等について、実際に幼児と触れ合う活動を通して身に付ける。 															
単位認定の要件	試験、授業内活動、提出物の合計評価が60点以上の者に単位を認定する。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	授業の概要(目的・計画・履修上の留意事項・評価)について解説する。保育学を学ぶとは。 予習:(15分)指定のテキストを活用すること。1章保育を学ぶに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	2	子どもの発達 予習:(15分)指定のテキストを活用すること。2章子どもの発達に目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	3	子どもを育てる 予習:(15分)指定のテキストを活用すること。3章子どもを育てるに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	4	子どもの育つ環境整備 予習:(15分)指定のテキストを活用すること。4章子どもの育つ環境整備に目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	5	子どもとふれ合う① 予習:(15分)指定のテキストを活用すること。5章子どもとふれ合うに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	6	子どもとふれ合う②(幼稚園見学) 予習:(15分)指定のテキストを活用すること。5章子どもとふれ合うに目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	7	子どもとふれ合う③(見学のまとめ) 予習:(15分)幼稚園見学で学んだことのアウトプットに向け、構想を練る。 復習:(30分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	8	模擬授業①(模擬授業の構想、計画、教材研究) 予習:(15分)保育領域で扱う内容について事前に調べておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	9	模擬授業②(教材研究) 予習:(15分)教材研究を行う。 復習:(30分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。														
	10	造形活動の体験 予習:(30分)何を作るか構想を練る。 復習:(15分)作品作りについて振り返る。														
	11	子どもとふれ合う④(読み聞かせをする絵本の選書、練習) 予習:(15分)どのような内容の絵本を読み聞かせるか、事前に調べておく。 復習:(30分)実習で行う表現活動についてシミュレーションをしておく。準備物の確認をする。														
	12	子どもとふれ合う⑤(幼稚園での実習:読み聞かせ) 予習:(15分)読み聞かせの練習をする。 復習:(30分)読み聞かせを振り返り、レポートをまとめる。														
	13	模擬授業③(授業計画の発表、検討) 予習:(15分)授業計画の発表について準備する。 復習:(30分)検討した際の課題について修正を加える。														
	14	模擬授業④(実習および検討) 予習:(30分)授業の準備をする。 復習:(15分)検討した際の成果と課題について振り返る。														
15	家庭における看護 予習:(15分)指定のテキストを活用すること。6章家庭における看護に目を通しておく。 復習:(30分)テキストやノートをもとに講義内容を振り返る。															
教科書・教材	岡野雅子ほか著 新保育学 改訂5版 南山堂															
参考書・参考文献等	家庭科の教科書(中・高)及び学習指導要領解説															
履修上の注意等	幼稚園での実習は、幼稚園側との調整が必要になるため、シラバスで示した授業計画と異なる場合があります。															
実務経験との関連	実務経験の有無	無														

[3501] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
家庭教育法 I			講義	工藤寧子	2年	前期	健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無								
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員									
			2					○	△		期末試験	50	有						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
	○	—	—	○	—	—	—	○	○	—		—	—	○	—	○	授業内提出物	20	有
	○	—	—	○	—	—	—	○	○	—		—	—	○	—	○	授業内活動	30	有
											計	100							
											フィードバックの方法								
当該科目のキーワード	《知識・理解》		家庭科教育の意義									期末試験は試験後に解説を行う。授業内提出物・活動は、授業内でコメントをする。							
	《汎用的技能》		課題設定力と計画力、聞き手にわかりやすく話す発信力																
	《態度・志向性》		自己管理する規律性									アクティブラーニングの有無(内容)	有						
授業概要	家庭科教育の変遷をふまえて、家庭科の意義・目標・内容を把握し、現代の生活課題について解説する。また、学習指導案の作成、授業づくりの工夫、家庭科における評価方法の基礎的・基本的な力を説明し、生徒の実践に即した学習指導案と評価を計画する能力の向上を促す。											グループワーク、模擬授業							
授業の到達目標	①小学校・中学校・高等学校家庭科教育の意義が説明できる。 ②小学校・中学校・高等学校家庭科教育の目標・内容について理解できる。 ③学習指導案の作成、学習評価をするための基礎的・基本的な力を理解できる。 ④教材研究の視点を持つことができる。																		
単位認定の要件	到達目標の①～④の合計が60点以上。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	ガイダンス、小・中・高等学校の家庭科の振り返り 予習:(90分) 家庭科の内容を振り返ってまとめる 復習:(90分) 小・中・高等学校の家庭科の教科書を読む																	
	2	家庭科教育の意義、学習指導要領について、小学校・中学校・高等学校家庭科の位置付け 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 家庭科教育の意義を理解する																	
	3	小学校の家庭科 目標及び内容、教科書の内容を把握、指導計画 指導上の問題点 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 小学校の目標と内容を覚える																	
	4	中学校の家庭科 目標及び内容、教科書の内容を把握、指導計画 指導上の問題点 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 中学校の目標と内容を覚える																	
	5	高等学校の家庭科 目標及び内容、教科書の内容を把握、指導計画 指導上の問題点 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 中学校の目標と内容を覚える																	
	6	年間の指導計画、学習指導と評価の計画 予習:(90分) 学習指導要領の確認 復習:(90分) 学習指導計画の立て方を理解する																	
	7	学習指導案の比較、教材研究 予習:(90分) 既存の学習指導案に目を通す 復習:(90分) 授業内容を振り返る																	
	8	模擬授業観察の方法、模擬授業学習指導案の作成 予習:(90分) 小・中・高等学校の学習内容に目を通す 復習:(90分) 学習指導案の作成																	
	9	模擬授業と相互評価(A領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正																	
	10	模擬授業と相互評価(B領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正																	
	11	模擬授業と相互評価(B領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正																	
	12	模擬授業と相互評価(B領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正																	
	13	模擬授業と相互評価(C領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正																	
	14	模擬授業と相互評価(C領域) 予習:(45分) 学習指導案の作成 復習:(45分) 授業内容の振り返り、学習指導案の修正																	
15	模擬授業全般についてまとめ 予習:(0分) 復習:(180分) 自身の課題を考え、まとめる																		
教科書・教材	中学校学習指導要領解説技術・家庭編(平成29年告示)、高等学校学習指導要領解説 家庭編(平成30告示) 新版授業力UP家庭科の授業 文部科学省検定済「技術・家庭 家庭分野」教科書、高等学校教科書「家庭基礎」																		
参考書・参考文献等	特になし																		
履修上の注意等	・授業計画(順序)は変更する場合がある。 ・家庭科教育の基礎的な内容のため、復習し理解しておくこと。																		
実務経験との関連	実務経験の有無	無																	

【3502】 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
家庭科教育法Ⅱ			講義	工藤寧子	2年	後期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無							
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監理員・調理師	期末試験	50	有				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末レポート					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》																
	—	○	○	○	—	○	—	○	—	○	○	—	—	○	○	計	100
当該科目のキーワード	《知識・理解》		家庭科の学習内容を理解する。									期末試験は試験後に解説をする。授業内提出物・活動は授業内でコメントをする。					
	《汎用的技能》		指導案作成や模擬授業を通してコミュニケーションスキル、情報リテラシー、問題解決能力を養う。									アクティブラーニングの有無(内容)		有			
	《態度・志向性》		ホームプロジェクトの実践によりチームワーク、リーダーシップの重要性を体験し、生涯学習力を養う。														
授業概要	家庭科教育法Ⅰで学んだ内容をふまえ、自立した生活者育成という家庭科教育の目標を理解し、家庭科の授業実践力の向上を育成する。そのために学習指導要領を理解した上で、指導計画・指導方法・学習評価・教材研究・教材教具の作成を行い、模擬授業の実践を行うことで、家庭科教育の授業作りの理解を促す。											問題解決学習、模擬授業、グループディスカッション					
授業の到達目標	①家庭科の教員として必要な基礎的知識を習得する。 ②教材研究、授業研究の視点を持つことができる。 ③模擬授業が実践できる。																
単位認定の要件	到達目標の①～④の合計が60点以上。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	ガイダンス、家庭科教育法Ⅰの振り返り 予習:(なし) 復習:(90分)学習指導要領の見直し															
	2	高等学校家庭科で育てたい能力と学習課題 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(90分) 学校教育における合理的配慮、ユニバーサルデザインの視点に立った「わかる授業」について理解を深める。															
	3	各学科に共通する「家庭」と専門学科において開設される教科「家庭」、家庭に関する専門学科について 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(90分) 高等学校における家庭に関する専門学科のある高校のホームページを見て、教育課程の特徴を知る。															
	4	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(90分) 学習指導要領から高等学校における選択必修科目に共通する目標、指導に当たっての留意点について理解を深める。															
	5	学校家庭クラブ全国大会について 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(90分) 学校家庭クラブのホームページで、全国的な活動の様子を調べ、理解を深める。															
	6	ホームプロジェクトの実践(テーマ設定・個人指導・実践報告書の記入) 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(120分) 見つけた生活課題をファイルに記入しながらホームプロジェクトを実践する。															
	7	ホームプロジェクトの発表および講評 予習:(90分) 生徒の視点と指導者の視点を持ちながら実践報告書を完成させる。 復習:(90分) ホームプロジェクトの実践を振り返り、自己及び相互評価表を完成させる。															
	8	教員による模擬授業 予習:(90分) 授業に該当する学習指導要領を読み、まとめる。 復習:(90分) 学習指導案作成の復習。															
	9	学習指導案の作成と教材研究(人の一生と家族・家庭及び福祉) 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(90分) 教科書会社のホームページを参考にして「人の一生と家族・家庭及び福祉」の大単元、小単元の時間配分をする。															
	10	学習指導案の作成と教材研究(衣食住の生活の自立と設計) 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(90分) 教科書会社のホームページを参考にして「衣食住の生活の自立と設計」の大単元、小単元の時間配分をする。															
	11	学習指導案の作成と教材研究(持続可能な消費生活・環境) 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(90分) 教科書会社のホームページを参考にして「持続可能な消費生活・環境」の大単元、小単元の時間配分をする。															
	12	学習指導案の作成と教材研究(持続可能な消費生活・環境) 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(90分) 模擬授業をする授業の学習指導案を完成させる。															
	13	模擬授業及び合評会 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(90分) 模擬授業の改善すべき点について考察し、相互評価表を完成させる。															
	14	模擬授業及び合評会 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(90分) 模擬授業の改善すべき点について考察し、相互評価表を完成させる。模擬授業を自分の学習指導案に活かす方法を考察する。															
15	模擬授業及び合評会、まとめ 予習:(90分) 次の講義日まで間、新聞やネットで家庭科の授業に適していると思う話題を集めて記録簿に記入する。 復習:(90分) 模擬授業の改善すべき点について考察し、相互評価表を完成させる。模擬授業を自分の学習指導案に活かす方法を考察する。																
教科書・教材	高等学校学習指導要領解説 家庭編(平成30告示) 高等学校教科書「家庭基礎」 新版授業力UP家庭科の授業																
参考書・参考文献等	中学校学習指導要領解説技術・家庭編(平成29年告示) 文部科学省検定済「技術・家庭 家庭分野」教科書																
履修上の注意等	・授業計画(順序)は変更する場合がある ・家庭科教育法Ⅰを履修すること																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

[3601] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
教育原理			講義	齋藤雅俊	2年	前期	健康栄養学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格				単位認定の方法とフィードバックの有無									
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・指導員									
				2			○	○	○		期末試験	55	無						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト			
	○	○	○	○	—	—	○	—	—	—		—	—	—	—	○	授業内提出物	45	有
												授業内活動							
											その他								
											計	100							
											フィードバックの方法								
											コメントペーパー返却								
当該科目のキーワード	《知識・理解》		教育の本質と目的、これまでの歩みについての理解									コメントペーパー返却							
	《汎用的技能》		前項目について口頭、文章等で説明									アクティブラーニングの有無(内容)			無				
	《態度・志向性》																		
授業概要	「教育とは何か」という本質的な問いを念頭に置きつつ、西洋教育史(古代ギリシア時代から現代まで)や日本教育史(近代公教育の始まる明治期から現代まで)における教育観や教育思想の変遷を概観しながら理解を深め、教師として現実の教育実践において出会ってであろう様々な出来事に関して「人間と教育」のより全体的な脈絡の中で考察していく。																		
授業の到達目標	教育実践のための基礎力を身につけるために、 ①教育の本質と目的、意義と理念について理解する。 ②これまでの教育史の歩みについて理解する。 ③前項目について理解・修得したことを授業内で口頭発表したり、試験・レポート等で論述できる。																		
単位認定の要件	期末試験(55点)+コメントペーパー等授業内提出物(3点×15回分)=60点以上																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	教育学の基本的概念の理解(1):語源・字義などからみる教育の意味、目的・目標。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	2	教育学の基本的概念の理解(2):個性・自主性の尊重。それらの教育観をふまえて、学校と教員・家庭はどうあるべきか。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	3	教育学の基本的概念の理解(3):素質・環境などの要因について。それらをふまえて、学校と教員・家庭はどうあるべきか。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	4	教育学の基本的概念の理解(4):教育の「場(家庭・学校・社会)」について。特徴と役割、それらをめぐる現代の教育課題。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	5	教育に関する歴史と思想(1):古代ギリシア時代の教育(ソクラテス・プラトン・アリストテレスなど) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	6	教育に関する歴史と思想(2):ヘレニズム期~ローマの教育 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	7	教育に関する歴史と思想(3):中世の教育(キリスト教と教育。大学の成立など) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	8	教育に関する歴史と思想(4):15~6世紀の教育(ルネサンスと人文主義の教育。宗教改革と公教育の父...ルター) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	9	教育に関する歴史と思想(5):17世紀の教育(自然科学の発展と合自然の教育、実学主義。コムエウラによる学校教育制度の試み) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	10	教育に関する歴史と思想(6):18世紀の教育(啓蒙主義と教育。市民教育の普及と近代公教育制度の芽生え...コンドルセ) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	11	教育に関する歴史と思想(7):19世紀の教育(新人文主義の教育。近代公教育制度の成立。幼児教育の発展と幼稚園・保育所の成立) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	12	教育に関する歴史と思想(8):20世紀以降の教育(児童中心主義。教育の現代化) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	13	教育に関する歴史と思想(9):日本における教育(古代~終戦まで) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
	14	教育に関する歴史と思想(10):日本における教育(戦後民主主義と教育制度改革) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																	
15	まとめ。現代社会における教育課題と今後の展望。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																		
教科書・教材	牛渡淳『改訂 教育学原論』中央法規																		
参考書・参考文献等	上記以外の文献等も適宜参照する。また、パワーポイントによるまとめプリントを配布する。なお、配布物が多いため、各自綴じするためのファイルを用意すること。																		
履修上の注意等	新聞・テレビ等の教育関連情報に関心をはらうこと。また、出欠の不正(中抜け、無断退出、代返、コメントペーパー代筆、他人のコメントペーパーを参考にする等)の他、成績に影響する全ての不正については単位認定を不可とする。																		
実務経験との関連	実務経験の有無	無																	

[3604] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
教育心理学			講義	小林琢哉	2年	後期	健康栄養学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無							
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者	期末試験	80	無				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					期末レポート				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト		
	○	—	○	○	—	—	○	—	○	○	—	○	—	—	授業内提出物	20	有
	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》														授業内活動		
														その他			
														計	100		
														フィードバックの方法			
当該科目のキーワード	《知識・理解》		教育心理学の基礎知識					授業内提出物での学生のコメントに対して次回の講義で解説を行う。									
	《汎用的技能》		心理学的な考え方					アクティブラーニングの有無(内容)					有				
	《態度・志向性》		心理学的知見を実生活に応用する姿勢														
授業概要	本講義では、将来教職に就くものとして必要となる、教育における諸問題を心理学的観点から説明できる素養を習得することを目的とする。人間の心身の発達及び学習の過程について、教育心理学における分野における基礎知識を得る過程で、教育に関わる心理学的なものの方・考え方を養う。												心理実験・調査の体験及びグループワーク				
授業の到達目標	①乳幼児期から青年期にかけての運動・言語・認知・社会性等心身の発達過程に関する代表的な理論の内容を具体的に理解し、その内容を説明できる。 ②学習や記憶の代表的な理論及び主体的学習を支える指導方法を理解し、その内容を説明できる。 ③学習者の動機づけや学級集団の形成の仕組み・教師のリーダーシップなどについての理解の内容を説明できる。 ④教育評価・教育統計の基礎概念を理解し、適切に説明できる。																
単位認定の要件	授業内提出物及び期末試験の合計が60点以上であること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	発達①発達の原理、遺伝・環境要因の影響に関する体系的な理論 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 発達の原理について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	2	発達②運動と遊び 粗大運動・微細運動の発達、一人遊びから共同遊びへ 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 運動の発達について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	3	発達③言語 言語発達の過程、母語と第二言語獲得の基礎 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 言語発達の仕組みと過程について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	4	発達④認知 ピアジェ理論、ウィゴツキーの社会構成主義、素朴理論 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) ピアジェの認知発達理論、ウィゴツキーの発達理論について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	5	発達⑤社会性 道徳性・向社会的行動の発達、アイデンティティ形成、人格の発達 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 道徳性の発達について、コールバーグ理論を中心に教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	6	動機づけの理論 外発的動機づけ・内発的動機づけ・達成動機 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 動機づけの種類、知能観との関係について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	7	学力①新しい学力 情報活用能力を含む21世紀型スキル 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 生きる力、情報活用能力などの新しい学力について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	8	学力②学力・知能の定義と測定方法 知能の構造・検査方法 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 知能測定の歴史、知能検査の種類などについて教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	9	学習過程①学習の仕組み 行動主義・認知主義の学習理論 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 心理学における学習の理論について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	10	学習過程②記憶の仕組み 記憶の種類と忘却の過程、作業記憶の発達と学習支援 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 記憶の二重貯蔵モデル、作業記憶モデルについて教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	11	学級集団 集団の種類・形成と成員への心理的影響 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 集団の形成過程、学級集団の理解について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	12	教育評価①測定と評価の方法 教育統計、目標に準拠した評価、ポートフォリオ評価 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 教育評価の分類、方法について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
	13	教育評価②評価に影響する要因の理解 適性処遇交互作用など 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) テスト結果を変動させる要因について、授業資料を整理して内容を確認する。															
	14	指導方法①学習理論に基づいた授業方法 プログラム学習・発見学習 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 行動主義心理学の授業理論について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。															
15	指導方法②学習理論に基づいた授業形態の理解 協調学習、ジグソー学習など 予習：(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習：(90分) 認知主義の学習理論に基づく授業設計について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																
教科書・教材	古川 聡(編) 教育心理学をきわめる10のチカラ 改訂版 福村出版																
参考書・参考文献等	授業中にプリントを配布する。																
履修上の注意等	授業時間中に無断で退出したものは単位不認定とする。																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

[3606] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
教育課程論			講義	森本洋介	2年	前期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格					単位認定の方法とフィードバックの有無								
2	15	30	必修	選択	管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者								
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》					期末試験						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	60	有
	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	授業内小テスト		
	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	—	○	○	—	○	授業内提出物		
当該科目のキーワード	《知識・理解》		学習指導要領									期末レポートは採点后に返却する。授業内活動では授業の最後の5分をフィードバックを行う時間にする。						
	《汎用的技能》		資質・能力、見方・考え方															
	《態度・志向性》		協働力									アクティブラーニングの有無(内容)	有					
授業概要	教育課程の本質と目的、理念に加えて、近現代の教育内容・教育課程の歩み、特に戦後日本のナショナルカリキュラムである「学習指導要領」の変遷を概観し、理解を深めていくことを通じて、日々の教育実践の中で教育課程を如何に編成し、如何に行い、如何に評価、改善していへべきかを考察していく。また、教育課程の新たな内容や、主体的な学び方について実践的に取り扱う。										グループワーク、探究学習							
授業の到達目標	近現代の教育内容・教育課程(カリキュラム)の歩み(主に「学習指導要領」の変遷を中心に)とその意義を概観し、それをもとに現在の教育課程編成の原理と今後のあり方について理解を深める。また、近年重要視されている教科横断的な教育課程について、体験的に学習し、理解を深める。																	
単位認定の要件	到達目標の理解が60%以上であること。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	オリエンテーション 予習:(00分) 復習:(180分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。自分で興味のあることについて調べる。																
	2	カリキュラムとは何か 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	3	学習指導要領の変遷(戦後～教育の現代化) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	4	学習指導要領の変遷(ゆとり教育～生きる力) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	5	新学習指導要領の内容 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	6	今日の学力観(PISA型学力)と教育課程 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	7	「学力低下」論 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	8	教育課程の編成原理・条件 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	9	教育課程経費とカリキュラム・マネジメント 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	10	特別活動、総合的な学習の時間、道徳教育 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	11	諸外国の教育課程①(英国、米国、中国、韓国) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	12	諸外国の教育課程②(フィンランド、カナダ) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	13	教科横断的な教育内容の実践と社会に開かれた教育課程①(メディア・リテラシー) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	14	教科横断的な教育内容の実践と社会に開かれた教育課程②(環境教育・SDGs) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
15	教科横断的な教育内容の実践と社会に開かれた教育課程③(国際理解教育) 予習:(90分) 当該授業内容について事前に学習してくる。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																	
教科書・教材	特になし																	
参考書・参考文献等	適宜指示する。																	
履修上の注意等	グループ活動が基本となるため、遅刻・欠席は厳禁とする。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																
計											100							
フィードバックの方法																		

[3607] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
道徳教育の指導法			講義	齋藤雅俊	2年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
			必修	選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学校家庭	高校家庭	食品衛生監視員・調理師							
2	15	30		2														
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験	42	無		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	期末レポート		
	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○		○	○	授業内小テスト		
	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○		○	○	授業内提出物	45	有
														授業内活動	13	有		
														その他				
														計	100			
														フィードバックの方法				
当該科目のキーワード	《知識・理解》		道徳教育の歴史と学習指導要領の理解									授業内提出物(コメントペーパー)や模擬授業についての感想(まとめ)を返却する。						
	《汎用的技能》		模擬授業での発表や質疑応答									アクティブラーニングの有無(内容)			有			
	《態度・志向性》		模擬授業での協働															
授業概要	<p>・「特別の教科 道徳」の指導のための理論と実践を学ぶ。 ・学校教育において道徳という特別の時間が生まれ、通ってきた歴史を概観し、学習指導要領の内容や道徳科の特質をふまえたさまざまな指導方法に精通していくことで、これからの道徳教育を創り上げていくための基礎力と応用力を形成していく。</p>														模擬授業の準備、実行等			
授業の到達目標	<p>①道徳の歴史や理念について理解する。 ②学習指導要領で掲げられている道徳の目標や内容について理解する。 ③道徳教育のさまざまな指導法について理解する。 ④理解したことを指導案の作成や授業実践に生かすことができる。</p>																	
単位認定の要件	期末試験(42点) + 授業内提出物(45点) + 模擬授業等の活動(13点) = 60点以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	道徳とは何か(理念と本質) 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	2	これまでの道徳教育の変遷①(教育史上の流れから) 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	3	これまでの道徳教育の変遷②(いじめ・情報モラルなど) 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	4	これまでの道徳教育の変遷③(子どもの心と道徳性の発達から) 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	5	学習指導要領における道徳教育及び道徳科の目標と主な内容①(A主として自分自身に関する事) 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	6	学習指導要領における道徳教育及び道徳科の目標と主な内容②(B主として人との関わりに関する事) 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	7	学習指導要領における道徳教育及び道徳科の目標と主な内容③(C主として集団や社会との関わりに関する事) 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	8	学習指導要領における道徳教育及び道徳科の目標と主な内容④(D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事) 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	9	学校における教育活動全体を通じた指導とカリキュラムマネジメント 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	10	道徳科におけるさまざまな指導法の例(道徳教育アーカイブより) 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	11	道徳科におけるさまざまな教材とその活用について(道徳教育アーカイブより) 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	12	道徳科の特性をふまえた学習評価のあり方(個人内評価)について 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	13	道徳科の指導案作成について 予習: Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習: 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)																
	14	模擬授業の実践①(A班を中心に) 予習: 担当者は模擬授業の準備をする。(60分) 復習: 担当者は自分が行った活動について振り返る。(60分)																
15	模擬授業の実践②(B班を中心に) 予習: 担当者は模擬授業の準備をする。(60分) 復習: 担当者は自分が行った活動について振り返る。(60分)																	
教科書・教材	<p>栄養希望者: 文部科学省『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳』、中高家庭科希望者: 文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳』(※インターネット等でダウンロードしてもよい)</p>																	
参考書・参考文献等	パワーポイントによるまとめプリントを随時配布する。なお、配布物が多いため、各自綴じるためのファイルを用意すること。																	
履修上の注意等	新聞・テレビ等の教育関連情報に関心をはらうこと。また、出欠の不正(中抜け、無断退出、代返、コメントペーパー代筆、他人のコメントペーパーを参考にする等)の他、成績に影響する不正については単位認定を不可とする。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																

[3610] 教職に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
教育方法・技術(情報通信技術の活用含む)			講義	森本洋介	2年	後期	健康栄養学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格						単位認定の方法とフィードバックの有無						
			必修	選択		管理栄養士	栄養士	栄養教諭	中学家庭	高校家庭	食品衛生 監視員・監視者							
2	15	30		2				○	○	○								
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験				
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観		社会的責任	生涯学習力	期末レポート		
	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	○		○	○	授業内小テスト		
	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—	○		○	○	授業内提出物	60	有
														授業内活動	40	有		
														その他				
														計	100			
														フィードバックの方法				
当該科目のキーワード	《知識・理解》		主体的・対話的で深い学び									授業内活動については各回授業の最後の5分程度を用いてフィードバックを行う。授業内提出物については評価を行ったものを本人に返却する。						
	《汎用的技能》		メディア・リテラシー									アクティブラーニングの有無(内容)			有			
	《態度・志向性》		探究力									PBL、グループワーク、探究学習						
授業概要	本授業は、学習者の学びに対する意欲を引き出すための授業方法および評価方法について、経験的に学ぶことを目的としている。つまり、授業で取り扱う学習項目も重要であるが、自分たちがどのような授業を受けているのかを、方法的に意識化できるようにすることにより重点を置いて授業を進める。																	
授業の到達目標	教育技術と教育評価の基本的な理論と事項について、メディア・リテラシー教育を軸としながらテキストを用いて理解する。主体的・対話的で深い学びの実現における基本的な要素を理解する。そのうえで、それらを実践するための基本的なスキルを獲得する。また、主体的・対話的で深い学びにおける学習者の学びをどのように評価するのか、パフォーマンス評価の方法についても理解する。																	
単位認定の要件	到達目標の理解が60%以上であること。																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	オリエンテーション 予習:(90分) 復習:(180分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。自分で興味のあることについて調べる。																
	2	第3章 教育技術の基本(教材、教授行為、学習形態) 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	3	第1章 メディア・リテラシーとは何か 予習:(90分)当該テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	4	第2章 メディア・リテラシーと類似の能力との違い 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	5	第5章 主体的・対話的で深い学び 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	6	第9章 前半(学習評価) 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	7	第9章 後半(ルーブリック作成) 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	8	第12章 カナダのメディア・リテラシー教育 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	9	第6章 GIGAスクール構想 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	10	第7章 各教科でのメディア・リテラシー教育の実践 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	11	第4章 子どもの発達とメディア・リテラシー教育 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	12	第8章 小学校から高校までのメディア・リテラシー教育 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	13	第9章 ユネスコのMILカリキュラムの実践 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	14	第13章 三角形モデルを用いたテキスト分析の方法 予習:(90分)テキストを読んでくる。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
	15	生成AIと学校教育 予習:(90分)当該授業内容について事前に学習しておく。内容はその前の回に伝える。 復習:(90分) 当該授業内容について自身で振り返りを行う。																
教科書・教材	森本洋介『子どもたちのクリティカルな思考を育むメディア・リテラシー教育の理論と実践』ミネルヴァ書房、2025																	
参考書・参考文献等	ルネ・ホップス、デビッド・クーバー、ムーア著・森本洋介監訳『メディア・リテラシー教育と出会う—小学生がデジタルメディアとポップカルチャーに向き合うために』弘前大学出版会、2016年3月																	
履修上の注意等	指示をした回についてはスマホではなくパソコンを持ち込み、インターネットを授業中に使用できる環境を整えること。授業中の活動においてインターネットを使用することがある。受講者数や進行状況次第で予定が多少前後する可能性がある。スマホは出席確認のため毎回使用する。																	
実務経験との関連	実務経験の有無	無																